



シルバーだより

No. 286

平成 26 年 4 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田 芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

「平成 26 年度の出発にあたって」

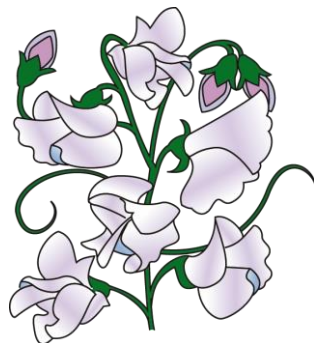
理事長 岡田 芳子

平成 26 年度が始まりました。開講・入学式が 4 月 14 日に举行されます。役員の皆様方が準備をすすめて下さっています。

ところで、この 3 月 18 日、平成 25 年度の閉講・卒業式が举行され、卒業生 82 名、奨励賞 35 名（10 年間学んだ方）が祝福を受けました。このほとんどの方がさらに学び続けます。うれしいことです。

開講式には晴れやかな姿を見せてくれることでしょう。

さて昨年度は、創立 30 周年という嬉しい伝統を引き継ぎ、様々な行事が盛大に行われました。なかでも創立 30 周年記念誌を発行することができ、学生の皆様にご協力いただきました。



30 年間の歴史と、現在学び続けられている学生の皆様の様子などが手に取るように分かります。新入生の皆様で 1 冊求めたいという方がいらっしゃいましたら事務室でお求めください。（1 冊 500 円です。）

その記念誌の中に「アンケートに見る荒川シルバー大学」というページがあります。908 名の在籍者のうち 742 名（81.7%）の方が回答して下さいました。

そのうちいくつかを挙げてみますと、①女性の通学者 84%、②86 歳以上 30 名（4%）、最高齢 96 歳、③16 年以上学ばれている方 48 名（7%）、④25 年度 4 教科以上受講 33 名（5%）、⑤入学の動機、生きがい・頭の活性化・健康、を合わせて 78% 等です。高齢化社会のなかにあって自分らしく生き、元気で生活していることに感謝し、人とのつながりを大切にしていきたいと思います。

いよいよ 5 月から各教室で学習が始まりますが、その学習の場は生涯学習センターのほか区の施設や民間の施設をお借りしています。

荒川区（区長 西川太一郎様・区議会・そして区の各部署の方々等）のご理解・ご協力のおかげです。自分自身のチャレンジ精神をほめ、他者に感謝する気持ちを大切に楽しく学び合いましょう。

平成25年度学芸会報告

今年も元気な老人パワーの結集した 16 回目の学芸会が平成 26 年 2 月 28 日、サンパール荒川小ホールに於いて、後藤八重子、瀧澤百合子両氏の司会で開催されました。

本年度は、シルバー大学開校 30 周年記念の年に当たり、記念行事に引き続き各教室とも創意工夫を凝らした 1 年間の、成果の発表が行われました。学生の皆様の熱気に押されたかのように、前日までの不順な天候も吹き飛び最高気温 19 度と春のような暖かな中で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

出席者は、一般の方 20 名、講師の先生 23 名、学生 350 名、計 393 名でした。昨年同様の出席数でしたが、今年は出演者達の交代と席の交代もスムーズに行われ、空席がほとんど見られませんでした。プログラムの進行もスムーズに運び、例年にない時間的な余裕も出来た学芸会になりました。

例年ご担当頂いている企画部長の宮澤健一氏が急病のため、慣れないメンバーでの運営となりました。学芸会開催に当たり例年以上に事前の綿密な計画、打合せや役割分担を行った結果、無事に終了できましたこと、関係の皆様のご協力の賜物と深く感謝いたします。それぞれ緊張した時間でしたが役割を終え、一同ほっとしております。

毎年、当たり前のように担当してご苦労頂いている宮澤氏（当日はお元気で参加）、講師の皆様、学生の皆様へこの場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。来年も元気で迎えましょう。・・・・・・・・

(学芸会実行役員一同)



☆25 年度奨励賞受賞者☆

3 月 18 日に行われました平成 25 年度閉講式では、次の 35 名の方々に 10 年間の学習に対して奨励賞が授与されました。(敬称略)

小林由美子・鈴木みち子・八木慶子・恩幣きぬ枝・石塚ミイ・茂野タケ・
阿部通子・隅田照子・菅 とき・宮内たい子・佐野はる子・武田 咲・
四方田節子・吉岡栄司・古川浩司・田中文子・辰野敏子・両角美子・
藤原 晃・藤原公子・山田紀子・嶋戸由美子・浅香愛子・杉谷康男・
藤間友美・横尾久枝・関 夏子・徳岡喜代子・小橋美智子・須田静江・
小北好子・山崎幸雄・野口加津子・佐藤美智子・岡野光子 以上

3年目の3月11日に思うこと

平成23年3月11日の東日本大震災の日、私と主人は東京の親戚の家に居て、地震に遭遇しました。震度6弱と云う北茨城の強い揺れは経験せず、幸いだったと思います。我が家が心配になり、直ちに車で常磐道へ向かいましたが、高速道は通行止めになり、都内の道路は大渋滞、茨城行きは断念し都内を50キロも走り回り又親戚に舞い戻りました。

翌日昼過ぎ再度出発、やっと東京を抜け出し、12時間以上掛けて停電中の町中を通り我が家へ辿り着きました。玄関の扉も中で物が散乱し入るのに一苦勞、手探りで懐中電灯を見つけ室内に入りましたが足の踏み場も無い程の散らかりようでした。明るくなるのを待つ事にし、仮眠しました。



翌日からは壊れた物の片付けに追われる中、福島原発の放射能漏れの報せに、北海道・東京・神奈川に住む子供達が心配し、直ぐに茨城を離れるよう説得されました。東海村原発が近くにあるのも気に掛かりましたので、衣類身の回り品をまとめました。主人は車のガソリンを求めに出かけましたが、長蛇の車の列、ガソリンは何時届くのか解らない状態で、2日ほど待ちました。備蓄の水も残り少なくなって来て、車のタンクには少しガソリンが残って居ましたので、思い切ってやっと開通した高速道で出発しました。サービスエリアで2000円分のガソリンを入れて貰えたので、どうにか東京に到着しました。其の後は子供たちの家を廻る毎日でした。

やっと自宅も水が出る様になったと知らせがあり我が家へ戻ると、二階の何処かで水道管が破裂したらしく、一階は水漏れで水浸し、台所の棚、押入れの布団もびしょり。天井の電灯も水の重みで落下し、地震よりもひどい状態になっていました。余震も多く、其の度に家がグラグラ揺れ、家も傾いて来てもうこの家に住むのは無理と決心し再度上京、友人宅を訪問した折、東京都で避難者向けに住宅の貸付があると聞き応募しました。

当選し、此処荒川区の町屋6丁目アパートへ引っ越す事が出来ました。荒川区は下町、人情の厚い町。近所の方々も皆親切で、色々心配して下さり、心細い気持ちで居た私共もすぐにこの町に溶け込む事が出来ました。荒川区社会福祉協議会様からの色々な支援を頂き、交流会等を通して、避難してきた方々とも知り合いになりました。このアパート内の集会所をお借りして、月に一回のミニサロンを開く事になり、胸に抱えている辛い事、悩み等を話し合う事で、少しずつ皆さんの表情も明るくなって来たと感じています。

その中、社協の鈴木課長様が荒川区のシルバー大学を紹介下さり、受講してみないかとお誘いを受けたのです。事務局の田原様を通してお話を伺い、以前茨城の合唱団で歌っていたので、音楽教室に見学に参りました。



まだ受講するかどうかの決心は着いていませんでしたが、丁度テレビで放映していた「坂の上の雲」の主題歌「スタンドアローン」を皆さんが練習しているのを聴き“私もこの曲を歌ってみたい！”と心が動き、飯島純子先生にその日のうちに入学させて下さるようお願いしました。私より年長の方々が、皆楽しく元気に、そして何年も歌い続けているのを伺い、私も教室に通う度に元気を頂いています。

茨城の自宅も 350 軒以上ある住宅の中で、我家一軒が半壊被害に遇いました。建築会社とも 2 年以上に渡り度々交流をしましたが、築年数が 12 年目に入っていたので法的には責任を問えずじまいでした。空き家のまま放って置くのは近所の方々にもご迷惑をおかけするし、50 年は住む事の出来た家は壊して更地に致しました。

地震に強い家をと望んで軽量鉄骨も打ち込んで建てた家でしたのに、その家が「重過ぎて 1 分以上も揺れた地震に耐えられなかった」との建築会社の見解でした。私共は納得しかねますが、いつまでもその思いを引きずって居ては前に進めません。津波ですべてを失った方、家があるのに帰れない方、私共よりもっと大変な事情を抱えた方々と身近に接して、まだまだ私共は幸せです。

思えば、あっという間の 3 年間でした。この間、荒川区の色々な行事「中でも区制 80 周年記念のミュージカル等」に参加させて頂き、子供達や大勢の方々との出会いは、喜び楽しみを味わい、今までに経験した事のない程の充実した 3 年間でした。

これからは私共の落ち着き先を探さなくてはなりませんので、今年度で音楽教室ともお別れさせていただくことになりました。年度途中での入学でしたのに卒業証書を頂くことが出来、恐縮しております。

これを励みに、これからも前向きに何かを学んで行きたいと思います。遅ればせながら、その節はシルバー大学の皆様から暖かいお気持ちを沢山頂きまし

て誠にありがとうございました。どうぞ皆様も、これからは 40 周年を目指してお元気で学び続けて下さい。有難うございました。



(音楽教室) 34 班 井餘田快子

感動のうちに終わった冬季オリンピック

第22回冬季五輪ソチ大会は、2週間の熱戦が繰り広げられ2月23日閉幕しました。鳥の様に飛ぶジャンプ、高く上がり空中でクルリクルリと回転するスノーボード、華麗に舞うフィギュアスケート、一つの石の行方を真剣な眼差しで追うカーリング、危険を伴う競技の数々に目を奪われ声援を送りました。これは寝不足になってもしっかりと見ようと思いながら、真夜中の戦いなので何時の間にかウトウトしてしまい、気がついたら終わっていたという残念な時もありました。



今回のオリンピックで特に印象に残ったのはジャンプの葛西紀明選手でした。20年以上も挑戦し続けレジェンドの称号を冠されました。メダルを胸に喜ぶ姿が感動的でした。

選手の皆さんは競技の後のインタビューに口々に答えていました。「支えてくれた人たちに感謝」「応援してくれた人たちに恩返しをしたい」と。オリンピックの舞台に立ちたいとの目標に向かって、10年15年と過酷な努力を続けてきました。その間、精神的にも金銭的にも支えてくれた家族やコーチ、所属する企業、声援を送り続けてくれた多くの人達への、心からの言葉であったと思います。

東日本大震災から3年、復興が遅れている被災地への思いが伝わる応援メッセージでもありました。



“人は誰かのために努力する時、大きな力を発揮する” 誰の言葉だったか、この五輪を観戦しながら沢山の感動とドキドキ、ハラハラの緊張感を貰い、そして新しい種目を知ることが出来ました。未だに余韻を楽しんでいます。

9 班 井口和子

.....

フラダンス教室 発表のお知らせ

会場：文京シビックセンター 大ホール
日時：4月12日（土）15：30分 出演
骨髄バンクのステージに参加します。皆さん、
ぜひご覧くださいね。



4 月 の 行 事 予 定



14 日 (月)	平成 26 年度 開 講 ・入 学 式	
一部	1. 開式のことば 1. 敬礼 1. 理事長挨拶 1. 学長式辞 1. 来賓祝辞・紹介 1. 新受講生誓いの言葉	1. 校歌斉唱 1. 閉式のことば 1. 敬礼 二部 1. 講師の紹介・挨拶 1. 班編成と役員紹介
会場： サンパール荒川 1 階 (大)ホール 開式： 午後 2 時		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3 月〉 ◆◆◆◆◆

- | | | | |
|------|--------------------------|------|---|
| 4 日 | 役員会(募集申込み状況、閉講・卒業式について他) | 11 日 | サンパール荒川卒業式打合せ |
| 7 日 | 卒業証書・奨励賞、式出欠確認 (地区班) | 18 日 | 平成 25 年度閉講・卒業式第 28 回卒業生 82 名
第 21 回奨励賞受賞者 35 名 |
| 14 日 | 新年度「学校案内」印刷 | 21 日 | 新年度「規約・名簿」作成 |
| 14 日 | 国旗・校旗・徽章・式次第横断幕準備確認 | 25 日 | シルバーだより 286 号作成 |
| | | 31 日 | 講師会 |

※ 事務局だより ※

① 役員会 4 月 1 日 (火) : 開講式のご案内・学校案内 (教室 1 回目の持ち物プリント含む)・ファイル・保存袋・シルバーだより 4 月号配付・・・「規約・名簿」は後日配付

② 開講・入学式 4 月 14 日 (月) 午後 2 時～ : 持参する書類

開講式のご案内 カード : 葉書大 (新入生 = 白色、継続受講生 = 水色)

サンパール荒川大ホール受付にて各班長にカードを提示の上**祝菓子**をお受け取りください。

学 校 案 内 P2.校歌の楽譜 = 式典・講義時には必携 ! (合唱します)

③ 各教室の練習について : 各教室の練習は、5 月から始まります。

※受講生の皆様へ : 大切なお知らせは、毎月この誌面に掲載致します。

(事務所) T E L 03-3801-5740 F A X 03-3801-5691

(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原



シルバーだより

No. 287

平成 26 年 5 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

創立 31 周年のスタートにあたって

学長・健康体操教室講師・今と昔の街歩き教室講師 望月 公子

我がシルバー大学は、世界一の長寿国日本の中でも、抜きん出た歴史と規模を誇っております。今年度は、31 年の歴史と 901 名・30 講座・37 教室で出発しました。

去る 4 月 14 日には、公務でお忙しい中を荒川区長 西川太一郎様をはじめ多くのご来賓のご臨席をいただき、盛大に創立 31 周年の開講・入学式が終了いたしました。また新入学生をはじめ多くの学生が式を盛り上げてくださいました。ありがとうございました。



荒川シルバー大学は、30 年前 148 名の有志によって創られた大学です。その有志が今年は 902 名に増えた成長途上中の学校であり、輝かしい日本を築きあげてきた荒川区の人たちが、今度は自分自身のために学ぼうと集まった学びの場です。

この『自分たちの為の自分たちの学校』をここまで守り続けてきたのは学生自身でした。このことは、『自分の人生は、自らの才覚で作りに上げていく』という自由闊達な荒川区特有の心意気に支えられており、今年も多くの学校行事に変わることなく生きています。さらに講師の先生方も、学校設立時の熱い思いに共感して、積極的に教鞭をとってくださっています。ありがたいことであります。

5 月から本格的に講義が始まります。新しい出会いのスタートの時を大切にしましょう。同じ目標を持ち、同じ時間を持つ大切な学友との出会いです。テレビやパソコンなどの機械と向き合う時間が多くなってきた今だからこそ、講義を通して語り合う喜びを大切にしていきたいものです。

私は、シルバー大学に関わるようになってから《大人の学び》とは、教えられるのを待つ教育ではなく、受容を土台とした協育だと考えるようになりました。校歌をそのまま実現できるように全員で協力してまいりましょう！！

最後になりましたが、荒川シルバー大学の成長を見守ってくださっている荒川区の方々感謝すると共に、今年度もご支援をよろしくお願い致します。

俳句教室講師 田中 京

荒川シルバー大学に俳句教室が復活して 1 年経ちました。ここで教室の紹介をさせていただくにあたり、やはり、そもそも俳句とは何かということをお話しないわけにはいかないと思います。

俳句は一言で言えば、瞬間を切り取り、季語に託して自分の思いを、5・7・5の詩形の中に詠むものです。世界で一番短いと言われる詩の中に、自分の思いを詠むというのは、そう簡単なことではありません。また、いろいろなお稽古ごとのように、練習すれば級が上がるとか、教本が仕上がって次に進むとか、目に見える形で上達がわかるものではありません。

でも、季語を使い、5・7・5で詠むという決まりさえ守れば、自分の言葉で自由に思いを表現できる喜びがあります。通常、旧仮名遣いが使われるので、用語に慣れる必要がありますが、歳時記と国語辞典が手元にあれば、時間的、空間的に自由に思いを巡らせて作句することができます。



ハナニラ

俳句と短歌の違いについて、少し考えてみましょう。俳句は今を切り取るものですから、ある意味、写真のようなものとも言えるかもしれません。自分の感性が捉えたある一瞬の場面を、カメラで写すのではなく、言葉で表現しようとするのです。それに比べて短歌は、5・7・5・7・7と字数が多く、時間の経過や物事の結果までを伝えようとするものと言えます。ですから、俳句が写真と似ているなら、短歌はビデオと似ていると言う人もいます。

俳句とは何かということについて、少しわかっていただけましたでしょうか？長年俳句を作ってきて、ちっとも上達したという実感はありませんが、私の今の時点での俳句への思いを、もう少しお話ししたいと思います。

俳句の良さは、紙と鉛筆さえあれば、いつでもどこでもできるということです。そして、できた俳句を持ち寄って行う俳句会では、自分の句を他の人がどのように受け取ってくれたかを知ることができます。また他の人の句を鑑賞することにより、その人の体験した事を想い共感したり、新しいものの見方や表現の仕方により、感動したりすることができるのです。俳句は一朝一夕で上達できるものではありませんが、俳句会に出席した他のメンバーとの会話もまた楽しみの一つです。このように魅力のある俳句、ご興味のある方はいつでもお気軽に見学にいらして下さい。



奨励賞の謝辞を読んで



10年の年月は、長く感じる人、短く感じる人、それぞれ感じ方が違いますが、私は短く感じました。奨励賞の謝辞を読む順番が今年は町屋地区とのこと、「私に」と言われました。不安がつのり後日お断りしましたが、『ぜひお願い』と言われ読むことを決意しました。「頭の体操教室」の先生に相談をして、私自身の事を少し付け加えていただき謝辞が完成しました。

10年を振り返れば思い出がいっぱいです。私は書道教室に10年お世話になりました。小学三年生の時以来、筆を持った事がなかったので、今思えば字になっていない字でした。今も決して上手ではありませんが、続けています。また頭の体操教室が7年前に出来ましたので、最初から入りお世話になっています。読み書き計算を中心に色々なことを学びながら、楽しく脳を鍛えていく笑いの絶えない教室です。このたびは謝辞を読ませて頂いて、良い思い出になりました。ありがとうございました。

34 班 関 夏子



卒業式を終えて



春一番が都会に吹き荒れた3月18日、荒川シルバー大学の卒業式が行われました。82名の代表として答辞を読むことになりました。

社会人になってからの卒業式は、「学校」まして「後期高齢者」として、経験しようにも出来ない経験を致しました。何をめざし、何を残したいといった気持ちは、その都度心に決め、挫けないように頑張ってきたつもりだったのですが、結局無色のまま過ぎてしまいました。

ふと回想してみましたら『間』という大事な生き方を学ばせていただきました。政治や外交のみならず、相手が仕かけてくるワナに嵌らないようしっかりと『間』を持つ事、それは心をつくる事、一呼吸する事である。

当日先生がアドバイスしてくれました。「一呼吸して」無事に答辞を読む事ができました。有難うございました。3年間の課程を修了し、無事卒業出来ましたこと、学長・理事長・諸先生をはじめ、関係各位の心温まるご指導と励ましの賜物と心より感謝申し上げる次第でございます。

荒川シルバー大学の諸先生はじめ、大勢の生徒仲間達のご健康をお祈り致します。5年、10年と許せる限り継続して学んでいきたいと願っている自分です。（『経験は誤りではない』＝ダヴィンチ）の言葉である。

39 班 春日美智子

平成26年度開講式並びに入学式

平成26年4月14日（月）、26年度開講・入学式が、曇りとは云えども温暖な気候の日に恵まれ、（2・3日前の天気予報では雨とのことでしたが、それもなく）サンパール荒川大ホールに於いて執り行われました。

第一部の式典では、理事長、学長の挨拶があり、区長、区議会副議長、荒川警察署長よりご祝辞を賜り、そして教育長他、多くの御来賓の方々に御出席を戴いたことが紹介されました。式に出席された新入学の生徒さん、及び大勢の在校生（合計5百有余人）は静かに拝聴しました。

新入生を代表して、東日暮里五班の丸橋浩子さんによる“誓いの言葉”が望月学長の前で述べられ、校歌を全員で斉唱して第一部は終了しました。

第二部では、学長により、三十二教室の講師の紹介があり、そして新役員を含む各担当の役員並びに各地区長が理事長により紹介があり、亦その後地区長による班長紹介で滞ることなく式は全て終了致しました。

此の式典を施行するにあたり、会場準備・来賓接待・受付等いろいろな役をお願いした役員並びに班長さん方にはご苦勞をお掛けしたことを、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

進行役担当 副理事長 宮澤健一

★広報部よりお知らせ

4月1日の役員会の時、シルバー大学について意見が出ました。《創立30年ともなると、戦争の思い出もなく戦後の新しい教育を受けた方々がシルバー世代となり、当校に入学してくる方も多くなりました。この大学に希望を持って入学して気づく事もあるでしょう。希望が果たされないままに心に影をつくるようでは、入学した意味がありません。大学の側でも見当する必要があるのではないか》この様な意見でした。

・・・皆さんに大学の為に発言してもらいたいと思います・・・

『言葉にすると批判されるのではないかと不安になられる方もいらっしゃると思います。どんなに良い意見でも、学生全員に伝わらなければ無意味です。伝える方法として、「シルバー便り」があります。

どうぞ広報部に書いて送ってください。シルバー大学の根底に流れている所は、くずさずに見当します。より良い大学にする為に、あなたの一言が大学に大きな花を咲かせるかも知れません。世論は大切だと思います。待っています。

スポーツの楽しさを知った日



目的がないと、腰が上がりなくなった。1日1回は体を動かさなくては。解ってはいるのだけれど、テレビの前にだけ座っている。いざ立とうとする時の膝の痛いこと。かと云ってニュース以外見たいテレビもない。どの局も同じようなものを放映している。テレビの休日もあるいいのでは、と思いながらも、見もしないテレビを一日中つけている。年を取ると人の声が恋しいのかも知れない。

でも3月は高校野球が始まる。楽しみ。スポーツは自分が出来ないせいか、興味がなかった。子ども二人も社会人になると、一人の時間が多くなった。やる事もなくテレビをつけると、高校生らしい生徒が一生懸命白球を追っていた。応援のすごさにしばらく画面を見ていたら、アナウンサーの声が聞こえてきた。

「山あいの子に大海を見せてやりたい」と生徒を指導してきた。蔦監督の部員に対しての厳しい練習の様子を説明していた。監督の顔も映った。日焼けした顔、頭には白くなった髪も目についた。部員は試練を乗り越え、甲子園に連れて行きたいと願う監督の情熱が実って戦っていると思えて一生懸命見ていた。終わった。

昔の事なのでどっちが勝ったのか、負けたのかも覚えてはいないのだが負けた方の選手が土のついてる袖で涙を拭いてる姿を見て胸が熱くなった。そしてスポーツって何だろう。誰の為に泣くのだろう。野球の知らない私をこんなに感動させて。それから、高校野球が好きになった。

四国を旅した時、池田高校を見に行ったら。徳島県の西端にあった。車の窓からなので校舎しか見えなかった。運転手さんが「蔦監督は日本でも有名な監督でした。春夏3回甲子園に出場したが、豪快な野球でしたよと、誇らしげに話してくれた。」先日の新聞に22年ぶりに選抜で甲子園に復帰する池田高校と載っていた。高校野球の選手は文武両道だと聞く。

蔦監督は平成13年77歳で世を去っている。でも池田高校の試合のある日は、あの監督を思い出しながら見ようと、今から楽しみにしている。

あの日の野球が私にスポーツの楽しさを教えてくれたのだから。

広報部長 佐藤恒子

蔦監督：選抜高等学校野球大会優勝監督 全国高等学校野球選手権大会優勝監督

蔦語録：❖「山あいの町の子供たちに一度でいいから大海を見せてやりたかったんじゃ」 - (1971年夏、甲子園初出場時)。この言葉は校門横の石碑にも刻まれている。❖「ワシはバントとかコツコツ当てていく野球は嫌いなんじゃ。野球に理屈はいらん。思い切り、のびのび打った

らええんじゃ」 - 1982 年秋 ♦ 「ワシがノックバットを離すときは監督を辞める時。ワシは死ぬまで離さんぞ」 - 1987 年春

5 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事	講師プロフィール
22 (木)	平成 26 年度 第一回合同講義 落 語	嘶家 柳家三三 (さんぞ) 2006 年 真打昇進
会場 : サンパール荒川三階 (小ホール) 時間 : 午後 2 時より (無料)		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (4 月) ◆◆◆◆◆

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 日 役員会(学校案内他配付) | 14 日 平成 26 年度開講・入学式 |
| 7 日 入学式打ち合わせ(サンパール) | 在籍総数 901、内新入生 113 |
| 11 日 規約・名簿印刷完成 | 28 日 広報委員会 |
| | 30 日 シルバーだより 287 号作成 |

※事務局だより※

1. 講義及び講座開始の件：日時・会場は学校案内書類・日程表または学校の掲示板をよく見て確認して下さい。又教室使用後の掃除、戸締りを確実に行之、教室で出たゴミは責任を持って各自お持ち帰りください。
2. 教室使用手続き時間の件：生涯学習センター窓口への【使用承認書】提出時間は、午前教室は 9 時 30 分より、午後教室は 12 時 20 分より。時間厳守でお願い致します。又終了後の鍵他の返納は速やかにお願ひします
3. 日程の変更について

6 月のフラダンス教室：9 日と 23 日になります。

6 月の音楽教室：7 日と 28 日になります。



※荒川シルバー大学【事務所】営業時間のご案内

(月～金曜日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時 (土日祝祭日は休み、
(事務所) TEL3801-5740 FAX3801-5691
(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 288

平成 26 年 6 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

『年を重ねても』

パステル・絵の具画教室講師 藤島久子

《光陰矢の如し》を実感する今日この頃です。やりたいことがいっぱいです。何かに夢中になって取り組む気持ちは、年齢を重ねても若い頃と変わりません。私にとって絵は、子供の頃から何よりも好きで、今もしばらく描かないと焦り、又、かけがえのない楽しみでもあり、一生勉強でもあります。

音楽を聴くことも、充実した気分になれる時間です。日本では子供の頃から、図工・美術・音楽を教科として学びます。これらは情緒教育といわれ、子供の心を豊かに育み、成長してから、やさしい思いやりの心、平和を愛する心を培う教科といわれてきました。

絵画同様、音楽にも巾広い分野があり、ロックやクラシック等々、それぞれの好みで、人は楽しみ充実感を得ているのだと思います。年齢と関係なく、描いたり、聴いたり、声にしたり、若々しく生き生きと過ごしていられっしゃる方が多勢で、とても励みになり、頼もしく嬉しいことです。



By Fujishima

ビートルズといえば、現代音楽の先駆けとも言われ、人々の心を捕え、知らない人はいない音楽グループですね。ずい分前に解散しましたが、メンバーのひとりポールマッカートニーさんのライブが昨年 11 月にありました。英王室から「ナイト」の称号も受け、ロック・ポップ・バラード・クラシック等々、オールマイティの天才でもあります。12 年前に来日した際も、昨年のライブも、漸く手に入れたチケットで、生演奏にひたることができました。若い頃の声・演奏は 71 歳になっても変わらず、三時間近く休むことなく続けました。

パノラマのような会場の上部の人は豆粒に見えましたが、全員総立ちで会場が一つになり、どよめきと興奮のるつぽに包まれ、人々は魅惑の世界に酔いしれていました。生涯現役の言葉がぴったりのミュージシャンは、これからも人々に夢と希望を与えてくれることでしょう。何と今年も来日！ 何はともあれ、あのきらめきと感動を受け、命の洗濯をしたいと楽しみにしている今日この頃です。

「創立 30 周年記念誌」 発刊を祝して

徳寿大学学長 大淵義明様からのお便り

御壮健にてますます御活躍の御様子、何よりで御座います。
また、荒川シルバー大学が、多くの受講生の皆さんとともに、
30 年の歩みを紡ぎ、発展されておりますこと、誠にご同慶の至
りと存じます。



これも、原田治子先生をはじめ、諸先生方の御尽力の賜物でございまして、心
から敬意を表すもので御座います。

またこの度は、「創立 30 周年記念誌」をわざわざお送り下さいまして、誠に有
難う御座いました。立派な記念誌の出来栄えに、感服致すと同時に、私のような
物の拙文まで掲載して戴き、何とも恐縮の至りで御座いますとともに恥入ってい
る次第であります。重ねがさねありがとうございます。

記念誌を紐解けば、お懐かしい先生方がお揃いで寄稿されておりました、私は
お一人おひとりのお顔やお声を思い起こしながら、感激を抑えきれずに一気に読
み通してしまいました。私にとりましては、忘れられない先生方といっぺんにお
会いできたようなそんな意味を持つ記念誌で御座いました。

どうぞ原田先生をはじめ、岡田芳子先生、稲川君江先生、望月公子先生、木村
国子先生、立川禮子先生、そして水越絹代さんと諸先生にお礼のご挨拶を申し上
げます。

高齢者の学習運動は、今日の超高齢社会だからこそ、益々その重要性が増して
いると私は考えております。その観点からもシルバー大学は、貴重な荒川区の教
育的社会資源としてその価値を増しているものと考えます。先生方の益々のご健
闘・御活躍をご期待申し上げます。年齢を重ねても、何か社会とつながりを持つ
仕事に従事したいと願う気持ちは、シルバー大学の先生方と同じだと考えている
ところで御座います。シルバー大学の益々のご発展と、お力を注がれておられる
先生方のご健康をご祈念申し上げてお礼のご挨拶とさせていただきます。有難う
ございました。(事務局宛・・・要旨にて)

教室紹介・・・ 書道・火曜教室

26 年度に向けて

講師 大友悦子

昨年はかけ足で過ぎたような気がする一年間でしたが、ほとんどの方が慣れ親
しんだ顔ぶれでしたので、嬉しく感じました。熱心な生徒さんの上達ぶりは目覚

ましいものがあります。私自身もいろいろな面で学ぶ事が多く、更に精進して参りたいと思います。

幾つになりましても目に見えて上達できる書道は、向上心を仰ぎ、集中できる楽しい時間でもあります。今年度も基本の楷書を中心に、古典や創作にも力を入れていく予定です。

未熟者ではございますが、今年度も宜しくお願い申し上げます。

5 月合同講義《柳家三三の落語》を鑑賞して

落語や漫才はテレビやラジオで観たり聞いたりした程度で、実際に実演をみたのは今回で二度目だが大変面白かった。本日の演目最初は「一目上がり」、中入り後は「お菊の皿」でした。噺に引き込まれ、あたかも噺の中に居る様な気分させられる。さすがにプロの噺はこんな処にあるのだと思った。実演はテレビやラジオとは一味も二味も違うものと思った。



京成町屋駅から上野駅まで 15 分ほど。上野には鈴木演芸場がある。こんな近くに演芸場がある。大部昔のことだが、一度友達と入った事がある。その時も面白い思いをした。前を通った時など一寸のぞいて出演者や演目を見て帰ってきてしまう。今は隙がたっぷりある。行こうと思えばいつでも行ける。偶には行ってみよう。今回このような機会を開催して下さった関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

施設部長 藤原 晃

あの映像、本当だったのです！

4 月の爽やかなある朝、ベランダで、ガサガサと聞き慣れない音がしていました。何事かとカーテンを開けて、そっと覗いてみました。そこにはカラスが 2 羽、それぞれが針金のハンガーを口にくわえて、ベランダの手すりに乗っていたではありませんか。物干し竿に掛けておいたハンガーが目について取りに来たらしいのです。

以前、都会で生きるカラスが、身近にあり手に入りやすい物を利用して作った巣をテレビで見た事があります。木の枝や針金のハンガーを組み合わせ、それは見事な出来映えだった事を思い出しました。春は、木々が芽吹き一斉に花が咲き、新しい生命の誕生に相応しい季節なのでしょう。動物園でも次々に赤ちゃんが誕生し、愛らしい姿が来園者の人気を集めています。カラスの夫婦は、力を合わせて巣作りの材料集めをしていたのでしょう。2 羽は口にくわえ共に飛び立っていきました。小さい卵が、そして雛が産まれるのもそう遠くないのでは。

9 班 井口和子

6 月 の 行 事 予 定

期 日	行 事 内 容	講 師
19 日 (木)	合 同 講 義 「最先端を行く荒川区政」	荒川区長 西川太一郎様
会場：サンパール荒川 三階 小ホール 時間：午後 2 時より		

◆◆◆ 学 園 日 誌 (5 月) ◆◆◆

- | | | | |
|------|-----------------------|------|----------------|
| 13 日 | 常任理事会・役員会
(開講式の件他) | 23 日 | 25 年度 会計監査 |
| | 講義打合せサンパール | 27 日 | 広報委員会 |
| 22 日 | 第一回講義
柳屋三三(さんざ)の落語 | 28 日 | シルバー便り 288 号発行 |
| | | 30 日 | 講師会 |

※事務局だより※



- ◆研修旅行：8 月 26・27・28 日 諏訪湖「湖上花火」と上諏訪温泉。締切 7 月末。
- ◆注意事項：冷房のスイッチ・戸締り・忘れ物・ごみのチェックをお願いします。
- ◆7 月・8 月の役員会について：7 月＝7 月 1 日 8 月＝7 月 31 日 (学園祭の件)
- 班長さんへ感謝

4 月の役員会が済むと「シルバーだより」「入講・入学式の案内状」「学校案内・年間スケジュール」などを、一軒一軒お配りして歩く班長さん。5 月以降も毎月「シルバーだより」をかかさずお届けする。また 1 対 1 でお会いして説明しないと用が済まない事もある。雨風にもめげず、黙々と続けた作業にも体力的に限界を感じた時、次の方に交代していただく場合が多い。学生の皆さんの無事と幸せを願い、ある時は相談にのりながら歩いた班長さんが、いつしか自ら司令塔になって荒川シルバー大学の裾野を広げてきたことは尊敬に値する。歩いた年月が育んだご苦勞は深い包容力となり、一言に重みがある。受け取る我々は、失礼のないように感謝の意を表しお気持ちに応えたいものである。

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長・田原





シルバーだより

No. 289

平成26年7月1日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～もう後ろは振り向かないで～

名誉学長・自分史教室講師 原田治子

梅雨の晴れ間の6月21日、大学を同期に卒業した7人で2年ぶりの会食。

82歳ともなると、環境も身体の変化もみんなそれぞれ。夫に先立たれている者3人、夫の介護に明け暮れている者2人、杖を頼りにやっとの歩行、腰痛に苦しむ、視力・聴力の衰え等々・・・。

しかし5,000円会費の中華料理を食べながら、若い頃のことごとが蘇ってきて、涙が出るほどの笑い。講義が面白くなって、いつも我慢を強いられていた教授達へのアダナ。

「ガンモドキ」（顔がブツブツ）、「ナフタリン」（虫がすかない）、「ノーチャック」（口にしまりが無い）。

思い出話に花を咲かせたあとは、何となく暗い話。7人とも、教職の経験を生かして自分なりのボランティア活動をしてはいるのだが、私生活は重い何かを背負っている。

認知症の進行に怯える夫に、平静を保って接している日々。重い病の息子とその家族への援助と心労。いくつもの病を抱えながら一人暮らしをしている不安。老姉妹と同居して日常生活のいざこざ。あっという間の3時間。

「どこかでお茶でも」のひと声でデパートの中を歩き回る。下りのエスカレーターに乗る段になって、Oさんが私に寄りかかってきた。ひとりではエスカレーターへの一歩が踏み出せないで、手を貸してくれという。手を繋ぐ。2人はエスカレーターに1歩。ところがOさんの足は踏み出さなかった。

手は繋がっていて離さない。私の体は数段下がっている。短い脚をひろげてふんばり、やっと手を振りほどいた。私の二の腕には大きなアザ。「ゴメンネ、ゴメンネ」Oさんの謝る言葉遣いが、なつかしい学生時代に連れていってくれた。そっかしいOさんは、あの頃ずいぶん私に謝ることが多かったな。

4時30分、別れ際に交した言葉。「後ろはふりむかないこと、生きることはすばらしいことよ」。

この夜、今日の出合いをシルバー大学のみなさんと重ねながらこんな詩を書いた。



おかげさまで

神様が人間に
忘却力を授けてくれたんだな
神様が人間に
時間という名医を
与えてくれたんだな
だから今
私は人生の午後を
生きていられる

片道切符の期限まで
まわり道をして
道くさをして
心にしみるような
ありがとうと言える人に
たくさん出会いたい
もう後ろは振り向かないで

原田 治子



荒川シルバー大学 第二回合同講義

・・・講師 荒川区長 西川太一郎先生・・・

平成26年6月19日サンパール小ホールに於いて、シルバー大学
本年2回目の講義として、西川太一郎荒川区長をお招きして「荒川区政重点政策
の一部」をお聞かせいただきました。

はじめに、「老人クラブ」と名乗る会が今全国でも減少している。団塊の世代が
引退しているが、彼等は「老人」と名の付くところに入りませんと云うのが現状
だ。「シルバー大学」も「プラチナ大学」という名前に変更したら？とのユーモア
とも本気とも取れるお話から始まりました。

「この4月1日以降の出来事33項目ありますが、故郷荒川を誇りに思っ
て貰うテーマ4つ5つを抽出してお話します。

(1つ目) 日暮里駅前、りそな銀行の5・6・7階を国が借りてくれる、マザー
ハローワークが出来ます。子育てのお母さん就職支援、それによって待機児童0
に成ります。勿論若者も利用できます。

(2つ目) 巧妙な振り込め詐欺の撲滅にあらゆる機会を使って行っている。利用
されている青少年を救う為にも大切な事です。

(3つ目) 永久水利と云う事です。荒川遊園地にあります。見に行ってください。
東京で今1番心配する事は地震であり、それに伴う火災です。隅田川の水を利用
する事にしました。荒川が最初で、北区・足立区・板橋区も始めました。

(4つ目) 当区の小中学生1万1千人全員にタブレット端末を貸出し、それを使
用して最先端教育授業を進めて行きます。

(5つ目) 図書を管理、指導する司書を全校に一人、大規模校には二人置きます。
荒川区の各小中学校の図書館は日本一です。その他、荒川のリサイクルは最高で
す。勿論リサイクル事業者が多いわが区は日本一のシステムを持っているところ
から、東京モデルとして海外、マレーシアに指導しています。次にお会いする時
は税金の話をしましょう」で区長の講義は終わりました。 副理事長 宮澤健一

☆☆☆ 班長を辞めて ☆☆☆

平成7年、それまで勤めていた会社を3月に退職して、4月にシルバー大学に70歳で入学しました。暫くして、私の班（荒川四丁目）の班長さんが癌で亡くなりました。

どういう訳か、まだシルバー大学の様子もよく解らない私に、班長の役が廻ってきました。もともと私は60歳で定年退職をして、ボランティアの仕事をしていと思っていましたので、少しでもお役にたつのならとお受けしました。

自転車に乗れない私は、歩いて30軒余りにシルバー便りを配って歩きました。その当時、荒川二丁目は5人位しか学生さんがいらっしゃらなかったのも、そちらも一緒に配っておりました。今は学生さんも増えて新しい班ができ、班長さんもいらっしゃいます。

今は教室代表という役が出来ましたが、当時は無かったので、班長が新学期の大きな袋の配り物や、お金を集める時に、留守の時は何度も尋ねたり、電話をかけたりと大変でした。教室代表の役が出来てからはとても助かりました。

そして87歳まで、至らぬながらも18年間班長を勤めさせて頂きました。おかげさまで、荒川区長西川太一郎さんから教育功労賞を頂く事が出来ました。

これもひとえに先生方やお友達のおかげと感謝しております。

26 班（元班長）落合静子

♡♡♡ 役員をおりて思うこと ♡♡♡

シルバー大学に入るきっかけは、夫を亡くし「兄弟も子供もなし、これから自分一人で生きて行くには先ず健康で居る事が一番」と、手始めにプールに通い始めたことです。そんな或る日の帰り、コーラスで一緒にした友人から声を掛けられ、シルバー大学の存在を知ることになったのです。



早速出かけ、とりあえず「音楽教室」に入ることにしました。そのうち受講する教室数もふえ、いろいろ中の様子もわかりかけた頃、班長を頼まれたので引き受けることになりました。

当初から29軒の受持ちになり、一回りするのに約2時間位掛かりました。大きな書類の時は手渡しになり、留守でしかもポストが小さく入らない場合は再度尋ねました。集金も有ったし、学園祭時には券を買っていただいたりしました。

シルバー便りも当時は一人一人に手渡しすることになっていました。人によっては、私が行くのを楽しみにされ、おしゃべりの相手に待ちかねて居る方等、私も少しは人様のお役に立っているのかしらと自己満足。

シルバー大学にもなじみ始めた頃、自分の人生だけだと世の中を見る目も狭いし、人様の人生もかいま見ることも出来るのではとの思いもあり、40人居れば40もの人生模様を知ることが出来る訳だと、「自分史教室」に入ることにしました。今では、もっと早く入って置けば良かったと思う程楽しい授業です。私ももう80歳も過ぎたし、ソロソロ若い方に後を委ねる時期が来たと考え、職を辞することにしました。

今、考えて見ると、やっぱり長いこと班長を経験して良かったと思います。数々の思い出があり、ホッとした面と一抹の淋しさを感じていますが、色々と教えていただきました。ありがたく思っております。

36 班（元班長）塚野明子

◆◆◆ 学 園 日 誌 （6 月） ◆◆◆

- | | | | |
|-----|-------------------------|------|---------------------------------------|
| 3 日 | 常任理事会・役員会 | 19 日 | 第二回合同講義：
「荒川区政について」
講師 区長西川太一郎様 |
| | 25 年度会計報告 | | |
| | 26 年度予算報告他講義 | 24 日 | 広報部 編集会議 |
| | 打合せ（サンプール荒川） | 27 日 | シルバーだより 289 号作成 |
| 9 日 | 高年者クラブ総会
（山口副事務局長出席） | | |

※事務局だより※

1. 講師会について：7/29（火）午後1時～、会場 第一会議室
2. 役員会について：7/1（火）午後1時半～、7/31（木）午後1時～、
会場 大会議室
常任理事会は1日、31日共に12時～、会場はシルバー事務所内
※31日は学園祭の打ち合わせを行います。よって展示教室の講師・
各教室代表全員・地区役員全員の方のご出席をお願いします。
3. 第39回稚心展のお知らせ 主催《水墨画教室 結城天鼓先生》
期日：7月4日（金）～6日（日） 時間：10時～5時
（但し、初日は12時～、最終日は4時まで）
会場：町屋文化センター 2階ふれあい広場
◆暑い毎日、水分補給・体力のつく食事を心掛けましょう。
避暑は生涯学習センターへどうぞ。

事 務 所 TEL3801-5740 FAX3801-5691
ホームページ <http://www.arakawa-silver.com/>



室長・田原



シルバーだより

No. 290

平成 26 年 8 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

発表の場がある事

輪踊り民舞教室講師 新英美紗信

輪踊り民舞教室も 5 年を迎える事ができました。学芸会も終え、ほっとしています。25 分間の発表の場をいつもマイクを持ち、舞台のそでで見っていました。

今回、最後に踊る総踊りは自分の目で見なくてははいけない
と思い、皆さんの輪の中に入り一緒に踊りました。

会場で掛け声をかけて下さった先生方、踊りに参加して下さった会場の皆さん、そして 1 年間一緒にお稽古をしてくれた受講生のみなさん、今感謝の気持ちでいっぱいです。



自分一人の力では絶対できない事、大勢の人の力でできた発表の場だったと思います。民族芸能や祭り踊りを通して絆を深め、これからも皆さんと笑顔の沢山作れる教室にしたいと思っています。

.....

昭和の記録について

今年も終戦記念日がやってきます。そこで以前に在校生に書いていただいた「昭和の記録」の中から作品を選びました。引き続き原稿募集しています。宜しくお願いします。
(広報部)

《母の戦死》

昭和 23 年 7 月 23 日、28 歳の若さで私の母は亡くなった。姉が 5 才、私は 2 才、まだまだ母親が恋しい歳。そして母もこの世に未練を残した無念の死であったことと思う。

父と母は共に長野県の出身で、結婚後間もなく満州に渡り新婚生活は奉天砂山街平和住宅から始まり、姉は昭和 18 年ここで生まれた。次第に戦争も激しくなり戦況は悪化するばかりで、とうとう父も現地で召集を受け入隊する事になった。明日は入隊と云う前日、市場で大好物の海老を買い、腹一杯食べた。

「あの時の味は忘れられない」と父が話してくれた事があった。そして、それ

が夫婦二人のこの世での最後の思い出になってしまった。父を見送った後、程無く終戦となり、満州は大混乱に陥った。住まいを追われ、幼い姉を連れ、大きなお腹を抱えての逃避行、母の心細さは如何許りであったか察するに余り有ります。



引揚げ船

出産は女性にとって命懸け、まして極限状態での出産、どんな思いでどんな場所で誰に助けられ私を産んだのでしょうか、母に聞くことは出来ません。どんな悲惨な状況であっても出産を止める事は出来ません。どうしても産まなければならないのですから。広島あの原爆投下の直後でも、産気付いた女性が出産したが、その陰には重症で唸っていた産婆さんがまさに命懸けで赤ん坊を取り上げその後亡くなってしまいました。私も多分大勢の方々に助けられ 20 年 10 月に生まれました。

昭和 22 年、親子三人満州から引き揚げてきた。1 才の私を背に、3 才の姉の手を引いて父の実家に到着したのです。私は体中おできだらけで汚く、泣いてばかり可愛げのない子だったと祖母がいつか話してくれた。たった一人で二人の子供を連れ、命からがら嫁ぎ先に戻った母に温かい出迎えがあったのかは疑問です。父は 8 人兄弟の長男で、家には舅・姑・小姑と大家族でした。昔の嫁の立場を考えると、母の辛さ哀れさが目に浮かびます。

疲れを癒す間もなく、無理を重ねた母は遂に倒れてしまった。気兼ねしながら横になっていても、遠慮しながら食事をしてても病が良くなる筈もなく、とうとう子供の事を最後まで心配し、何度も子供を頼みますと言いながら亡くなったと聞きました。

昭和 24 年 8 月 22 日、捕虜となりシベリアで強制労働をしていた父が無事復員して来た。夢にまで見た日本への帰国、どんな思いで故郷の土を踏んだのか。家では沢山の人が集まり、今か今かと父の帰りを待っていた。父を見た祖母は、父の首にしがみつかり泣いていた。又お互いの体を叩き合い、声にならず泣く、と云うより吠えている様な場面。誰も彼も涙で顔をぐしょぐしょにして、私は、唯もう恐ろしく感情のほとぼしる様子を見ていた。三才位の事なのに不思議と鮮やかに記憶が蘇ってきます。

◆『子供達を戦場に送らない』◆子を持つ母親の願いはみな同じであるはず。

今では、日本がアメリカと戦争をした事も、広島・長崎に原爆が落とされた事も知らない、興味ない、そんな若い人が増えている。このままでは、いずれすべてが消えてしまう・・・。

こんなささやかな文章でも残し、読んでもらえたら少しは母の供養になるかと思う。私も戦争を知らないけれど、たった一人の母を戦争で亡くしました。

母は戦死しました。 (昭和の記録より抜粋) 25 班 野村 祥子

長生きするのは、お肉を食べたらいいの？

「長生きしたけりゃ肉は食べるな」 若杉友子 著、
「肉を食べる人は長生きする」 柴田 博 著



書店に並んだ本を見ませんでしたか？どちらが本当
なのでしょう？

厚生労働省が高齢者の栄養状態が悪化しているとして、13年ぶりに国民の健康づくりの指針を見直し、高齢者にも肉などの「たんぱく質」をしっかりと食べるようにと、指導に乗り出しました。

高齢者に肉を勧めるわけは、年をとると自然に筋力や免疫力が落ちるから、それを補うことが出来るのは、肉であるというのが理由のようです。確かに年を取ると体力が落ちてくるから、しっかりとした食事をとることは大切です。

高齢者の栄養不足は、肉不足だけが原因ではないと思います。高齢者や1人暮らしの場合など、自分自身のためにしっかりと食事を作って食べる気がしなくなり、特に、これからの季節は暑さで食べる意欲が失われたりします。

食欲がなくなることは、生きる気力も失われます。今までの経験を生かし、いろいろ工夫をして、肉だけでなく魚、大豆、卵、牛乳等からたんぱく質をとり、野菜や海藻といろいろなバランスよく食べるように心がけたいものです。

そして腹八分目。これが長生きの秘訣のような気がします。

「健康寿命を延ばす本当の習慣」はしっかりと食べることのようにです。高齢者の健康を調査した結果、栄養不足の人は、脳卒中や心筋梗塞になりやすいと云います。そして、ちょっと太めが長寿で健康という結果も出ています。

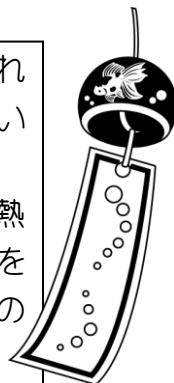
どうぞ皆様、夏痩せなどしないように、新学期には元気にお会いしましょう。

(広報部 高山順子)

「街なか避暑地」を利用しましょう！

今年も暑い夏がやってきました。荒川区では区内のひろば館、ふれあい館、図書館など公共施設46か所で「街なか避暑地」を実施しています。

家庭でのエアコンを止めて区全体の節電効果を上げ、高齢者を熱中症から守ることもつながります。それぞれの施設で楽しい企画を立て、冷たい飲み物も用意して皆さんをお待ちしております。交流の場として新しい出会いがあるかも知れません。出かけてみましょう。



『荒川区主催：大太鼓盆踊り大会のお知らせ』

期 日：9月6日(土) 午後6時～9時
会場：南千住野球場 (南千住 6-45-5)
雨天の場合、翌7日(日)に順延



※本年は練習日を特別に設けませんが、踊る曲目は例年とほとんど同じです。

◆◆◆ 学 園 日 誌 (7月) ◆◆◆

- | | | | |
|----|--------------------------|-----|--------------------------|
| 1日 | 7月役員会(学園祭・旅行他)
常任理事会 | 22日 | 広報部・企画会議 |
| | | 26日 | シルバーだより 290号作成 |
| | | 29日 | 講師会 |
| 7日 | 学園祭打ち合わせ(1回目)
ムーブ町屋にて | 31日 | 8月役員会・講師会
常任理事会(学園祭他) |

※ 事務局だより ※

1. 平成26年度研修旅行：諏訪湖遊覧船・ぶどう狩りと上諏訪温泉の旅
期日：8月27日～29日(水木金)の3日間。料金：一人¥36,000。
宿泊先：長野県・上諏訪温泉『RAKO華乃井ホテル』

2. 学園祭について：10月24日～26日(金土日)の3日間
会場：ムーブ町屋 3階及び4階ギャラリー。
9月以降、各教室は展示作品や発表の準備等宜しく
お願い致します。



3. 8月の変更教室について

- ・絵本と伝承遊び教室：8月6日(水) 午前・午後 会場/ 第一会議室
- ・朗読教室：8月7日(木) 午前・午後 会場/ 第三会議室
- ・音楽教室：8月9日(土) 午前 会場/ 音楽室

◎8月は事務所も夏休みです。印刷等御用の方は下記の期日にどうぞ！

25日(月)以降 月曜～金曜：9時30分～16時

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp(7/22 変更)

(ホームページアドレス) arakawa-silver.com/

室長・田原



シルバーだより

No. 291

平成 26 年 9 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

「ハチドリの一としずく」いま、私にできること

書道・金曜教室講師 八嶋セツ子

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

森が燃えていました。森のいきものたちは、われ先にと逃げていきました。でもハチドリだけは、いったりきたりくちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで火の上に落していきます。

動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」といって笑います。ハチドリは答えました。「私は、私にできることをしているだけ」

という短いお話ですが、何度読んでも心打たれます。



私は書道・金曜教室を受け持って5年目になりますが、本当に楽しい教室になっているのだろうか。あれも書きたい、これも見たい、こんなことも話したいといろいろ思っている、何の役に立つだろうか、と再び「ハチドリの一としずく」を読んで励まされました。

「今私にできること」、教室の一人ひとりがハチドリになるように提案するのはどうだろうか。教室では今、学園祭の作品作りが始まっています。まだ何を書いてよいのかわからない。書けないと苦しんでいる声も聞こえますが、楽しんでいるようにも見えます。

今年も古典臨書中心で、書聖と呼ばれた王羲之の蘭亭序が人気です。細字で全臨する人もいます。

風流な楽しみが伝わってくるような蘭亭序は、端正で力強くのびやかで美しい。1500年以上も前から数多くの書家たちが臨書していますが、未だ王羲之の右に出るものはいないと伝えられています。

驚馬も千里、努力し続けていけば目標に近づき、駿馬も夢ではありません。

※蘭亭序とは

永和九年（353）旧暦三月三日、王羲之は41人の文人墨客を招き、曲水の宴を開きました。その時の詩集の序文を書いたものです。

「昭和の記録」を読み返して

・・・記憶がだんだん遠くなる・・・

蝉が鳴き始めた。今日も暑い日が一日中続くに違いない。



この時季になると何故か戦中・戦後の混乱した頃の情景が思い出される。私自身は幼かったが、経験したことが強烈な事、周りの変化があまりに急激だった事、故に良くも悪くも記憶に残っている。そんなことを思いながら、去年（H・25年）夏に皆で協力して冊子にした「昭和の記録」を手に取り拾い読みして見た。シベリアでの抑留生活・満州・朝鮮からの引揚げ・空襲・親や我が子の死・集団疎開、いろいろ悲惨な体験があった事、そしてあの昭和の大戦が如何に残酷であったかを、再び蘇らされた。最近の記事で再度知ったことだが、日中戦争以降、日本軍の軍人・軍属の戦死者約230万人のうち、6割が栄養失調や食料の窮乏で抵抗力をなくし、マラリアなどの感染症で病死した広義の餓死だったそうだ。輸送船など戦地に向かう途中、敵の潜水艦や飛行機の攻撃で船もろとも亡くなった海没死も30万人を数える。民間でも10万人以上にも及ぶ死者を出した3月10日の東京大空襲、勿論東京ばかりでなく地方の都市でも爆撃による多くの被災死者が出ている。そして最後に広島・長崎への原爆投下である。広島で14万人、長崎で8万人の爆死者をこの年に出したこの戦争が、どれだけ深い傷痕を国の内外に残したかを知らされた。そこで私たちは、あの戦争で亡くなった人々の「無念さ」を伝え続け、この「昭和の記録」に書かれた方々のつらい体験が「無」になってしまう事にならぬ様、努力をしなければならないのに！

近頃この悲惨な記憶が薄れてきては居ないか？ 「國を守る為なら・・・」

「この集団的自衛権行使容認の閣議決定は、必要最小限の範囲で憲法9条の下許される・・・」とか、「我が国と密接な関係にある国の若者が血を流して戦っている時、唯黙って傍観している国であって良いのだろうか、日本は・・・」など、戦争体験の風化は云われて久しいが昨今の政治家の議論を見ていると、その風化の影響は著しく大きなものがある。

戦争は些細なことで始まり大きく為るのは歴史が証明している、100年前の第1次世界大戦然り、昭和の第2次世界大戦も同様である。もし万が一の事が起こったらこの「昭和の記録」と同じ経験をした多くの人達は、死んでも死にきれぬ思いだろう。

「記憶がだんだん遠くなる」恐ろしい気がするのは私だけだろうか？

「昭和の記録」を再び読んで 平成26年8月5日

副理事長 宮澤 健一

花のある場所



お友達から、「元気になってネ」と温かい心と言葉をのせて、真っ白な胡蝶蘭の鉢が届いた。胡蝶蘭は生命が長いから、健康も長く続くようにと考えてくれたのだと、私は思った。

有難うと花に目が止まる度、心でつぶやく。自分の居場所から一番良く見える所に置いてある。お茶の時しみじみと見てみると、清らかで日本の心を宿して、上品な美を表現しているように思う。

広くもない部屋に色々な物が置いてあるのに、花の居る場所だけ静かな空気が漂って、私の心を落ち着かせてくれる。病氣ばかりしていると、自分の体に、「きょうはどう？」と話しかけているような気がして、「駄目だ、こんな事では負けてしまう」と言い聞かせても、体は思うようにならない。

目の前にある花は、与えられた時間を迷うことなく精一杯生きているのに。花に比べたら人間は生きている時間もぐーんと長い。

「このありがたい時間を有効に生きなければ」「85歳だってまだまだ」と思える朝でした。

広報部長 佐藤恒子

.....

教室紹介・・・今と昔の町歩き教室

深谷市散策

高崎線に輝く赤レンガの美しい深谷駅、一度は立ち寄りたい名建築と思います。また、明治初期日本経済の基礎作りをされた渋沢栄一先生の記念館や生家を見学、有意義でした。次いで当地の名門、大谷家を特別に見学させて頂き、贅を尽くした建築と庭園を拝見した上、大谷様と一緒に記念写真まで撮らして頂き、ご好意に感謝いたしました。

その他、滝沢酒造での地酒の試飲。中々いける方も多いようで、楽しい風景でした。続いて宿場町からの歴史を持つ旅館「きんとう」で豪華な昼食を戴き、楽しくてなごやかな一時を過ごしました。

また記念館では市長さんまでお見えになり、富岡製糸所と縁（ゆかり）の深い深谷の将来の発展と荒川区との友好を期待されていました。そして、シルバーク大学の方々も、機会がありましたらお立ち寄り下さいますようにとの事でした。

今と昔の町歩き教室代表 酒井倫夫

相撲甚句全国大会を観戦して

6月7日に東京都江戸東京博物館に行ってきました。そこは全国から相撲甚句を唄う方々が集まっています。まず一番太鼓を（普段はやぐらの上でたたくのですが）ござを敷き、その上に座布団を敷き、延々と、てんてこてんてこと約10分位てんてこてんてこと打っていました。それから開会のあいさつ。

日本相撲甚句会代表理事、飯田美千代さんの会場に響き渡る相撲甚句は何とも言えない情感を生み出します。「相撲甚句の作詞や、太鼓の名手として脚光をあびた父（※永男）が旅立ってから早いもので2年が経ちました」というご挨拶がありました。

それから日本相撲甚句会、名誉会長さんのご挨拶、そしてエジプト、ダカハレヤ出身の大砂嵐さん（外国人最速出世記録保持者）を唄った相撲甚句を羽黒郷太郎師範が唄ってくれました。

相撲甚句は邦楽の一種（歌詞は七・七・七・五のの甚句形式）で日本全国の愛唱者によってその時々、の事柄を埋め込んでいる。花、名所旧跡、見合い、結婚となんでも文になっている。聞いていてあきないです。とても素晴らしかったです。感動しました。

34 班 安部世利子

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (8 月) ◆◆◆◆◆

8 月 7/31	8 月常任理事会 役員会・学園祭の件	27-29 日 研修旅行：諏訪湖湖上 花火・遊覧船・ぶどう狩りと 上諏訪温泉の旅
21 日	朗読教室・発表会練習	宿泊先：長野県・上諏訪温泉
25 日	シルバーだより 291 号作成	『RAKO 華乃井ホテル』
26 日	広報部・編集会議	29 日 学園祭共催依頼書提出

※ 事務局だより ※

◆朗読教室・第三回発表会のお知らせ◆

期日：9月25日（木）時間：午後2時より

会場：サンパール荒川 小ホール

（メールアドレス）arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp

（ホームページアドレス）arakawa-silver.com/

（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691



室長・田原



シルバーだより

No. 292

平成 26 年 10 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

フラに魅せられて

フラダンス教室講師 佐々木時子

初めてハワイを訪れフラを見たのは、海外旅行がそろそろ一般の人にも普及し始めた頃、アメリカ西海岸ツアーで、ロスアンゼルス、サンフランシスコの帰りにホノルルに立ち寄ったほんの 3 日間の滞在で、その時ホテルで見たフラショーが、初めてフラとの出会いでした。

その時は、それ程感激もなくただ旅の疲れで、時間を過ごすだけでした。それよりも私がハワイに最初にとりこになったのは、その自然でした。町を離れて少し車で移動した時、明るく強い日差しに緑の山が輝き、そよ風が吹き抜ける林の中では、色鮮やかな羽の鳥が飛び交い、山を下りて海岸に向かうと抜けるような青い空、白い浜辺に白く大きな波が打ち寄せる。鳥の声と波の音以外の音は、聞こえない世界、それはまさしくこの世の楽園のようでした。



次のフラとの出会いは、ハワイに住む友人のお子様の結婚式に招かれた時でした。新婦の友人がお祝いに踊ってくれたフラを見た時、あまりにもその優雅さで、品の良さにすっかり魅了され、これこそ私が求めていた本物のフラだ、と感じ、私の身体を今までにない想いが走りました。

その場で友人にその踊り手を紹介してもらいました。その彼女こそ今私の師匠で有りますメリアカーターその人でした。彼女は 6 代続いてフラを継承している家柄で、彼女自身フラの最高位のフラの大会で、世界 1 位の称号を持つミスアロハの一人でした。

それから私のハワイ通いが、始まりました。基本のステップや手の動きは、やさしく真似することは簡単ですが、表面的なエンターテインメントのレベルの下に有るものを深く知る様になると、だんだんその奥の深さに気が付くようになりました。フラは単なる踊りではないのです。ハワイの色々な要素と結び付いています。例えば歴史、伝説、ハワイ語、古くからの宗教、唄、チャント、祈り、詩、日常生活、そして人々、場所、出来事、これらの一連のものがフラと結びつき、理解すればする程難しくまた魅力的になりました。

私にとってフラを理解するにあたり一番の障害はハワイ語でした。ハワイ語を理解できない事は、フラを踊る時の内容をなかなか表現をする事が出来ませんでした。幸いにも最近は翻訳されハワイ語を知らなくても理解できて踊れるようになりました。そのお蔭でフラは世界各国に広まり、フラを愛する人達が増えて来ているのだと思いました。ハワイでフラを習っていた時に印象に残った事は、フラの特徴の一つである自然を利用した衣装です。

特に古典フラを踊る時は、レイや、足首、手首の踊りや葉で作ったスカート等を、踊り手達は自ら山に出かけて踊りに必要な分だけ採集し心をこめて編み上げます。フラにとってレイは単なる飾りではなく、自然からマナという霊力を引き出すために自分の手で作り、使い終わったら元の自然に帰してあげます。そういったことを学び体験するにつれ益々フラの練習に力が入りました。

料理教室より・・・簡単レシピ

もやしの甘酢煮 (野菜高値時のお助け料理)

材料・もやし 1 袋 (200～250 グラム)、人参 1/2 本、油揚げ 1 枚 (代わりにちくわ・さつま揚げ・魚肉ソーセージ・薄焼き卵でもよい)、だしカップ 1 杯、しょうゆ大さじ 2、砂糖大さじ 1.5、酢大さじ 2



- ① 人参は 3 cm 長さのせん切り (もやしと同じ位の太さがきれい)
- ② もやしのひげはとつてもとらなくとも可
- ③ 油揚げは熱湯をかけて油ぬきして、縦半分に切り 5 ミリ巾に切る
- ④ だしカップ 1 杯にしょうゆ、砂糖、酢を入れて油揚げ、人参を 4 分間煮る。
- ⑤ さっと水洗いしたもやしを入れて、2 分間煮て出来上がり

※冷やしてもおいしいが水とき片栗粉を入れてとろみをつけ温かくして食べても可。

温泉玉子 (何かもう一品ほしい時に、電子レンジを使って簡単に作れます。)

※①②の順序を間違えない事

- ① コーヒーカップに大さじ 3 の水を入れる
- ② 卵を割り入れ、お皿でふたをする
- ③ レンジで一分間
- ④ タレをかけて出来上がり



本郷界隈を歩く

長かった猛暑が和らぎ、秋の気配が感じられる日、私は待ちかねていた散歩に出た。行き先は文京区本郷。本郷は東大のお膝元であったことも一因か文学の香りのする街である。何時もの様に自転車に乗り、不忍通りを湯島方面に向かった。途中に横山大観記念館、旧岩崎邸がある。千代田線湯島駅を右に曲がって春日通りへ出る。湯島天神の横に「切通坂」の説明があり、石川啄木について紹介されている。啄木が朝日新聞社の校正係としていた当時、2晩おきに夜勤があり電車がなくなるとこの道を歩いて帰ったそうだ。歌碑もある。この通りを本郷三丁目まで進み、本郷通りを東大方面に進む。東大赤門前に樋口一葉ゆかりの法真寺がある。老朽化が進み工事中だった。一葉の命日 11 月 23 日には偲ぶ会が催されているが、今年はないそうだ。



本郷郵便局を左に曲がり 2 つ目の路地を入ると徳田秋声旧居宅（本郷 6 - 6 - 9）がある。秋声は明治 38 年から 73 歳で亡くなるまでここで暮らし「仮装人物」などの作品を発表した。20 年も前になるだろうか。高校の恩師の主宰する文学散歩の会の一員として訪ねた時は秋声の息子の奥さんが色々話して下さった。そこから少し歩くと啄木ゆかりの「太栄館」（本郷 6 - 10 - 12）がある。北海道放浪から金田一京助を頼って上京、この 3 階に暫く逗留した。

京助は啄木の良き理解者であり金銭的にも精神的にも援助し続けた。旅館「太栄館」は平成 26 年 6 月で営業をやめ、取り壊しの工事中だった。一度利用しておけば良かった。中を見学させて欲しいと頼んだが断られた。二人が住んだ頃の様子を垣間見ることが出来ただろうに真に残念。富士山が見えて啄木が感激したという窓からの景色も眺めてみたかった。玄関と「東海の小島の・・・」の句碑をカメラに納めてきた。

すぐ近くに「新坂」の表示。江戸時代に拓かれた実は古い坂。この付近には高等下宿が多く、二葉亭四迷、尾崎紅葉、徳田秋声等の文人が多く住んで居た。この坂は文人逍遙の道でもあった。との説明文。急な坂をくだり左側へ曲がり

右側の細い路地を入ると、一葉が住んで居た頃の井戸が今でも

残っている。「金田一京助・春彦旧居跡」「坪内逍遙旧居跡・常磐会館」を見つけた。この辺りは坂が多く夫々に名前と謂われが記されていて、それを読むのも楽しい。東大周辺には

「竹久夢二美術館」「弥生美術館」等興味深い場所が沢山ある。

思い立った時に少しずつ歩いてみては如何でしょうか。思いがけない発見があったり、地図を手にした同好の人と出会い、意外なこぼれ話等聞けるかも知れません。 9 班 井口和子



新教室「楽しい源氏物語教室」説明会のお知らせ



講師：中山幸子先生 会場：第一会議室（生涯学習センター）
日時：11月6日（木）午前10時～12時

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

10月の行事予定

期 日	行 事	プログラム
1 日 (水)	<u>合 同 講 義</u> 兼杉三枝子 秋のコンサート ピアノ：代島きよ子	曲目：小さい秋・良かった・砂山・ ウィーン、わが夢の街・タイムセイ グッドバイなど
会場：サンパール荒川三階 小ホール 開演 14 時		
24～26 日 (金土日)	<u>学 園 祭</u> 展示：24 日/13 時半～、25 日/9 時～17 時、26 日/15 時まで お茶席=25 日（10 時～）・陶芸作品販売=26 日（11 時～） 会場：ムーブ町屋 3 階・4 階	

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌（9 月） ◆◆◆◆◆

2 日	常任理事会・役員会 (学園祭他・お茶席券発売開始)	16 日	10/1 コンサート打合せ (サンパール荒川にて)
9 日	学園祭打ち合わせ (ムーブ町屋にて)	25 日	朗読教室発表会
10 日	ポスター掲示依頼 (都電営業所)	30 日	シルバーだより 292 号作成
		29 日	学園祭打ち合わせ (ムーブ町屋にて)

※事務局だより※

① 10 月の変更教室のお知らせ：自然と小さな旅教室

日時：22 日（水）午前 10 時～12 時に変更（8 日は取消）

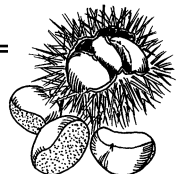
会場：センター 3 階 大会議室

② 11 月の公開教室のお知らせ：11 月に限り各教室の授業をどなたでも見学 できます。来年度の申込の参考になさってください。（詳細は 11 月号にて）

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

(ホームページ) <http://www.arakawa-silver.com/>

室長・田原





シルバーだより

No. 293

平成 26 年 11 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

シルバー大学で健康寿命をのばそう！

学長（今と昔の町歩き教室講師・健康体操教室講師） 望月 公子

ムーブ町屋で催された荒川シルバー大学学園祭は、21 教科 1,500 人の参加を頂き大成功で終了しました。

どの教室にも特色があり、出品者の個性が輝いた展示で、お互いが刺激あった 3 日間で来年の学園祭が楽しみです。会場は、熱気にあふれ「文化区荒川誕生！！」という雰囲気で大いに盛り上がっていました。

「わたし！今度はこの教室でやってみようかしら！」

「私は、毎年ひとつずつ教室を変えているけれど 30 教室もあると死ぬまでに終わりそうも無いわねー」「あら？私は、10 年以上ひとつ所よ！そんな浮気心じゃ駄目駄目！！」などと気の置けない仲間ならではの会話があちこちから聞こえた活気あふれる会場でした。



荒川区長様 荒川警察署長様をはじめ参観・出品いただいた多くの皆様にお礼申し上げます。人間いくつになっても、人との関わりを持ち続けたいものです。それが、尊敬できる人・共感でき会える人であれば良いのは勿論のこと、人生観が異なる人 趣味や出自の異なる人などから学ぶことは際限ありません。

だからこそ、今回の学園祭を始め 美術展 スポーツ 音楽会など様々な催し物に多くの人が足を運ぶのだと思った。そして、そこから得た刺激が脳に快感を起こすのではないのでしょうか。

荒川シルバー大学は、この脳の刺激を与え合う貴重な場であると考えています。現在高齢化社会で世界最先端を行く日本の課題は、長寿年齢ではなく健康年齢です。今、あなたが 80 歳ならば今までの生き方を力強く続けましょう！また、80 歳以下なら、先輩に学びつつ更なる飛躍に挑戦しましょう！

労働人口が減少する日本を支えるため 65 歳まで現役 70 歳まで就労 健康高齢者は社会福祉 という時代に遭遇したことは、私たちが大いに期待されて

いるということです。

8月に行ったシルバー大学2泊3日の研修旅行で、豊島区30名程のグループが同宿したそうです。その時参加した友人の言葉を紹介します。

「荒川シルバー大学は望月さんが行っている学校でしょう？素敵な人たちね！明るくて・仲が良く・サッパリしていて・いいな一っつて皆で話しました。」

このように シルバー大学で学ぶことは、心・脳・体・友 を育てることに繋がっています。シルバー大学で、健康年齢を伸ばしましょう！！ 以上

朗読発表会を終えて

その日第四回目の発表会の最後に、シャボン玉を飛ばした。客席から小さなざわめき、私は心の中で”ワァヤッタ”と……

朗読教室は、来年で十年を迎え、その年月だけ先輩諸氏のお力を頂き、そして教室でも、学生の一人々々が力を出し合い楽しく学んでいます。

今回の発表会は浴衣を着て、シャボン玉をとばしたいと先生のお考えでしたが、学生に負担をかけさせるのではないか、又サンパールでしゃぼん玉を飛ばす事ができるのか、先生御自身悩まれたようでしたが、発表会の後でシルバー大学の皆様にとってもよい演出でしたと、そして教室の学生たちも毎年よくなっていると褒めの言葉をくださいました。素直に喜んでお受けしたいと思いません。

そして先生の冷や汗、学生の頑張りで雨情の生涯と童謡に懸ける心情、漱石の夢の中に不思議と怪しさ、強さ、そして最初と最後におきかせしました長田弘さんの”最初の質問”で”今日あなたは空をみあげましたか”

で始まり”あなたは言葉を信じますか”で終る。私自身言葉の大切さ、人に伝える難しさ、何気無い言葉で人を傷つけていないかと考えます。齢七十になり、朗読教室や自分史教室に通い、学びながら、学びえず、皆様に補っていただきながら毎日楽しい時間をすごしています。

最後になって申し訳ございません。

九月二十四日雨曇りの中、シルバー大学の大勢の皆様にご来場にお運びいただき有難う御座います。大切な思い出のひとつとなります。

シルバー大学の皆様の優しさに感謝しつつ

しゃぼん玉、丸く淡く消えてゆき
何を残すや 人の心に



朗読教室 榎本節子

27 年度の新教室紹介・・・『楽しい源氏物語教室』

文学博士 中山幸子

『源氏物語』は、日本が生んだ世界の文学です。なぜ世界の文学といえるのでしょうか。それは、『源氏物語』の作者紫式部が、ゲーテやダンテやシェークスピアと共に、1965 年度の世界の偉人として、ユネスコから顕彰されたからです。現在は、『源氏物語』と呼んでいるが、紫式部は、『紫式部日記』の中で、『源氏の物語』と書いています。



『源氏物語』は大きく分けると正編と続編になります。正編は、光源氏を巡る女性達との愛の物語であり、続編は、源氏の子孫達の愛の物語です。『源氏物語』には多くの人達が登場します。三百余名ともいわれています。登場人物は、みな個性豊かに生き生きと描かれています。源氏を巡る女性達には、花に因（ちな）んだ葵上、夕顔、朝顔、末摘花、藤壺、紫上、花散里、軒端萩などがいます。その他にも、空蝉、朧月夜、六条御息所、女三宮など個性的な女性が登場します。

物語の主人公光源氏は、12 歳で元服し、その夜のうちに、当代随一の権力者左大臣家の一人娘、葵上と結婚しました。が、源氏は、なぜ恋の遍歴へと旅立たなければならなかったのでしょうか。

さて、源氏は、3 歳の時に実母と死別したので実母の面影すら知らないまま成長しました。ある時、宮中に仕えていた女性から、義理の母藤壺は、実母に生き写しであるということを聞きました。源氏は、藤壺に実母のイメージを重ね合わせ、親しみを覚えて懐いておりました。やがて、源氏は成長と共に義理の母への感情は、異性への愛へと変化を遂げていたのです。一方、藤壺は、義理の母で有りながら、源氏に対する愛情が、母性愛から異性愛へと変わってしまったのです。源氏と藤壺は、義理の母子でありながら、二人の愛の行方はどうなるのでしょうか。

この『楽しい源氏物語』講座では、人生経験豊かな皆様方と一緒に、楽しく語り合いながら、『源氏物語』を読み解いていきたいと思ひます。

・・・「楽しい源氏物語教室」説明会・・・

日時：11 月 6 日（木）午前 10 時～12 時 会場：第一会議室（生涯学習センター）

在学生以外の方でも結構です。どうぞ、お楽しみに！

平成26年度学園祭を振り返って

荒川シルバー大学学園祭が10月24日～26日の3日間に亘って開催されました。3日間ともお天気に恵まれて、1,500余名の方々にお出で頂き、観覧して頂きました。これは過去最高の参加者数になります。(観覧して頂いた一般のお客様も過去1番でした。)

これもひとえに、学生一同の情熱と向学心によるものと確信いたしました。そして受付・展示・照明等の作業でお力を頂いた方、並びに各教室の展示当番に当たられた方々のご努力に感謝申し上げます。

そして、今年は展示の開始時間・展示を撤収する時間帯・指示通りに守っていただきました。亦、ムーブ町屋のホール担当のスタッフの方々に多大なご協力を頂き、助かりました。

「今年は更に大変素晴らしい作品群でした」と、多くの方々のお褒めの言葉も頂きました。学園祭が事故無く無事に進行出来、終了した事、学生さん並びに各教科の先生方のご努力に感謝申し上げます。 実行委員長 宮澤健一

・・・11月の教室授業一般公開のお知らせ・・・

11月に限り、各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考にしてください。但し、日程・会場に変更のある場合がありますので、事前に事務所にお問い合わせの上ご見学ください。 ☎3801-5740まで

◆◆◆◆ 学 園 日 誌 (10 月) ◆◆◆◆

7 日	常任理事会・役員会 (学園祭他)	24-26	学園祭 ムーブ町屋 3・4F
		26 日	学園祭 ポスター取り外し (有志)
13 日	都電ポスター貼り (広報部)	28 日	広報部編集会議
14 日	広報部編集会議	30 日	シルバーだより 293 号作成

※ 事務局だより ※

1. 11月の教室変更のお知らせ

音楽教室：8日(土)午後1時～、15日(土)午前10時～となります。

2. 27年度の学園祭について

期日：10月23・24・25日、会場：ムーブ町屋です。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(メールアドレス) arakawa-silver@tcn-catv.ne.jp



室長・田原



シルバーだより

No. 294

平成26年12月1日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

～動から静へ

名誉学長 自分史教室講師 原田治子

「えっ、もう師走なの」歳をとるほどに時の流れの速さを感じるのは私だけでしょうか。そのせいか、80歳を過ぎた頃から時間は有限であると、殊更に自覚するようになりました。今年の除夜の鐘は、この思いを一層ふかめてくれることでしょう。さてそこで、年の終わりにあたって、来し方を顧みながら、人生の出口までの有限な時間をどういきるかを考えてみました。

幼少期から青年期にかけての貧困。戦時中の飢えと恐怖。社会人（教員）になって、達成感や成成感はあるけれど、不本意な縛りに自問自答を繰り返し、葛藤した長い歳月。60歳定年退職。39年間の教職から離れ一抹の寂しさはあるけれど、重圧や心ない競争など、世間のしがらみから解放されたあの日の爽快感。



しかし、それも束の間のことでした。私にとっては運命とでもいえるのでしょうか。荒川シルバー大学の仕事が待ち構えていたのです。区内高齢者有志の高邁な理念と情熱、将来を見据えての洞察力によって創られた「自主運営の学舎」この出会いに私は変心。初代水越清次理事長・二代秋山照子理事長をはじめとする先人たちの、シルバー大学の基礎作りに寄せる真摯な姿を目のあたりにして「私にもやることがあるはずだ。こうしてはいられない」と、決心というか、覚悟というか、複雑な気持ちが今日に至る22年間を支えてきたのです。

私の役割は重くもあり、やり甲斐もありました。学長・名誉学長というのは上下を表わす地位でもなければ名誉職でもありません。シルバー大学という組織での一つの役割です。ではその役割とは。

●先人の志を継ぎ、誰もがしがあわせを実感できる自主運営の輪の中心になって働くこと。

●人（学生） 物（環境） 金（予算）に細心の注意をはらって最善の方向に導くこと。この役割が十分に果たされたのかどうかは、これからゆっくり考え

ます。

除夜の鐘に私はこんな思いを寄せます。

でこぼこ道だったけれど / この道とおってよかったな / 優しくてあたたかい人に / こんなにたくさん出会えたんだもの / これからの私 / 自分と静かに向き合ってわが心のままに旅をします / 鉛筆・消しゴム・ノートを持って / 動から静への引っ越しだ / しがらみよさようなら / 本当の私よこんにちは
来年も荒川シルバー大学をみんなでしっかり育てていきましょう。

講師：佐々木時子先生の巻頭言“フラに魅せられて”について（10月 No.293号）

※巻頭言の後半が未掲載となっておりましたことをお詫び申し上げます。引き続いての文章を、下記に掲載させていただきます。

師匠であるクムに良く言われた事は、良いスピリットを持つ事、そうすれば内面の美しさを外に出すことができ、後は、曲の持つ意味や内容を理解して踊りを心から楽しむ事。

テクニックより美しい物語を奏でる事が大事であること。そして踊り手は、良い語り部で有るべきだという事、と言われたことを心にとめて、フラの持つ魅力に私もまだ学び続けています。

縁あってシルバー大学でフラを教える機会に恵まれ、私が経験して感じたフラを少しでも生徒さんと共有できればと思っています。これからも生徒さん達と一緒にゆっくり楽しくフラを学び、健康に気をつけて、人生の思い出の1ページを共に過ごせたら、と思っています。



◆ 学園祭が終わって…投稿順 ◆

料理教室

講師 立川禮子

毎年学園祭展示では「みんなで作って、みんなで食べる」楽しさをわかってもらうにはと苦心する。今年は教室の皆さんの協力でかなりうまくいったように感じる。毎回の料理写真と各料理班のスナップが、おいしさと和やかな雰囲気表現できた。教室での料理の写真のできがとても良く「おいしそう！お腹が空いた」の言葉は嬉しかった。資料として出した絵入りのレシピも早々となくなって、毎年楽しみにして作る、という感想も聞いた。

新メンバーにとっては大変だったと思いますが、それぞれに個性ある展示ができていい発表になったと思います。少人数のクラスだからこそ心温まる触れ合いも見られました。今年は折紙作品に本人のコメントを添えたのも好評でした。お子様タイムは日曜日の設定でしたが、土曜日の来客の方が多く設定時間に課題が残りました。大人の方々にも、コマ、ペンギン、フクロウ、カエル等楽しい製作体験をしていただけてよかったです。

自分史教室

講師 原田治子

「私を見てよ、私を見てよ」どの作品からもこの声が聞こえて来ました。一生懸命の姿が作品の中に生きているからです。この人達と、学び舎を共にしている幸福感を胸いっぱいにした三日間でした。自分史教室は、「一枚の写真が語る自分史」「私の好きな漢字、それはなぜ」が主題でした。それぞれが、個性・年輪を感じさせるみごとな作品でした。人間には加齢とともに進化する能力があることをはっきりと証明した学園祭でした。

絵手紙教室A教室

講師 岡田芳子

「個性に輝く」をテーマに教室で学んでいます。時々「へたでなかなかうまく描けない」という声があがりますが、へたが楽しいし、へたに味があるし、へたに深みがあるのです。“へたこそ上達の道”へたを楽しめるようになると気が付いたらうまくなっているのです。学園祭発表作品の中には、前日の教室で描かれた作品もありました。どの作品も個性に輝き豊かな表現に拍手です。

◎どこの教室も特長があり学びのすばらしさを感じました。

パソコン教室

講師 望月利一

今回は、昨年使用したホールでの展示を予想し、従来の印刷物の展示に加え、プロジェクターを使用した作品の上映をする予定でしたが、茶道教室がホールを使用するということで、パソコン教室は、今回、昨年まで茶道教室が使用していたミニギャラリーを割り当てていただきました。

初めての場所だったので、使い勝手の予想が難しかったのですが、落ち着いた空間の中で、印刷物の掲示と作品の上映を同時に行うことができ、大変良かったと思います。展示作品の配置や、上映作品の上映時間の表示など、工夫の余地も残りましたが、ぜひ来年以降もこの場所での展示ができればと思っています。



当教室は、今年で5回目の出展になりました。過去の活動努力(?)が認められ掲示パネルを拡大して頂きました。今回は、生徒さんが積極的にかつ大勢の出展者に協力してもらい、例年以上、大変良く出来たと自負しています。

俳句教室

講師 田中 京

俳句教室は、人数が増えましたので、開会の前日の授業の後、皆で展示に行きました。一人短冊一句ずつの展示でしたが、二段にするための位置決め等、大勢の目で見ての作業はチームワークよろしく程なく終わりました。

そこにある一句一句には、作者の個性が表れていて、詠まれた時の情景や心持などを想像してみることができました。こんなに個性豊かな俳句を詠む事ができる人達とご一緒できて、これからが一層楽しみになりました。

パステル・絵の具画教室

藤島 久子

毎年少しずつ人数も増え、展示スペースに計画どおりレイアウトできるかどうか心配でしたが、全員で協力仕合い展示することができました。この教室の特徴は一人一人の個性を大切にし、持ち味を生かすことです。同じ作品は一つとして無く各自好みの画材で自分の世界を表現しました。最初戸惑っていた方も、作品は自己表現ということを理解し、立体もユニークで楽しいものになりました。“楽しく制作する”これが上達のコツでもあります。

書道(金曜)教室

私は教室に参加して四年目になります。仕事も現役も続けているので、ちょっと「しんどい」こともあります。それでも、一ヶ月二回、二時間の教室で過ごす時間は、家で出来ないこともあって、大変集中し充実したひとときです。

その中で学園祭は、日頃の学習の成果の発表の場となっています。毎年、付け焼き刃で作品を提出する私にとっても、学園祭は仕上げるだけでなく、教室全員の協力の成果ともいえます。今年も皆さんの力を結集して素敵な会となりました。来年度以降も益々の発展を願います。

8班 松が迫秀行

今と昔の町歩き教室

講師 望月公子

年を追うごとに盛大かつ充実している学園祭にシルバー大学の勢いを感じています。「今と昔の町歩き教室」は、今年で十年目を迎えました。102名の学生全員で十周年を祝う気持ちを表わそうと取り組んできました。各班が班長を中心に個性を発揮した作品は、共同作品ならではの工夫や会話の中で出来上がったものでした。広くなった展示場で一年間を振り返れたことを皆で喜び合うこ

とができました。

水墨画教室

結城天鼓

老いては駄馬に等しで、アチコチ手ぬかりがあり生徒にメイワクをかけたが、60歳台の人が牽引車になり協力し合って「いい作品」を並べてくれた。感謝している。来年は私も力を込めた作品（時間をかけた絵という意味ではない）を出品した、オイボレも頑張っていると態度で示すことが講師としての良心だと思っている。

教室紹介・・・写真機と私と写真教室

写真が好きな方を大きく分けると、映像としての写真を趣味にされている方と、写真機に興味がある方がいるのではないのでしょうか。

私はフィルム時代の写真機のメカニカルなところに引かれ、道具としての写真機が大好きでした。（ライカ、キヤノン、ニコ



ンはもとより、ミノルタ、ペンタックス、ペトリ、トプコン、ミランダ、等々）

フィルム写真のころ写真を撮るには、其れなりの技術が必要でしたので写真を撮ることより、ただカメラを色々操作して時間を過ごす時の方が多くありました。

デジタルカメラの時代になり、写真機が機械式で無くコンピューター入りの電気カメラになり機械としての写真機の魅力は薄れてしまいました。その代り写真撮影に特別な技術が必要でなくなり手軽に写真が撮れるようになり、再度写真撮影の勉強しようと思い写真教室に入ったわけです。

教室では、戸叶先生に写真を教わることはもちろん、仲間の一人一人が写真好き、カメラ好き、写真談議好きなど良き素敵な先生達です。

写真教室 代表 細田金義

荒川シルバー大学研修旅行

シルバー大学に入学して15年目の今年、勇気を出して研修旅行に参加しました。当日は小雨が降ったり止んだりのはっきりしないお天気でした。荒川区役所前からバスに乗り、長野に向かいました。

最初の見学時は【信州みそ工場】。お味噌の試食をしました。次に【SUWA ガラス】を見学し宿泊地の上諏訪温泉【RAKO 華乃井ホテル】に2時頃到着しました。各部屋に分かれゆっくり団らんのひと時。宴会は豪華なお料理が並び、歌や踊り、芸達者揃いで楽しませていただきました。夕食後、小雨が降るなかで花火鑑賞。ぐると囲まれた山々にこだまする花火の音が心に残りました。

2日目は雨が上がり諏訪湖遊覧船に乗りました。下船後は自由散策で間欠泉

を見学しました。ホテルで昼食後はまた自由行動でした。友人の伊藤さんの案内で同部屋の四人北澤美術館へ行き、公開中の【アールヌーヴォーのガラス工芸展】を見学しました。タクシーで移動し下社秋宮をお参りました。御柱祭りでは有名な御柱に触れ元気をいただき、ホテルに帰りました。この夜も賑やかな宴会でした。伊藤美江子さんが【浜千鳥】などの歌詞カードを用意して下さり、思いがけず舞台上がって歌い、よい思い出ができました。最後には全員で輪になって合唱しました。

3日目は10時にホテルを出発しました。【チーズケーキ工房】で買い物をし、勝沼でぶどう狩り。【ふじみのり】というぶどうが美味しかったので、家族へのおみやげにしました。【マンズワイン工場】を見学試飲。石和のホテルの昼食では名物のほうとうをいただきました。中央道を通り予定前に荒川区役所前に到着しました。

学び続けるお仲間と過ごす時間はとても楽しく有意義でした。是非、来年も参加できるよう、健康管理に努めたいと思います。天候の心配やバスの手配をはじめ、この研修旅行が快適なものになるようにとの役員の皆様のご苦勞とご配慮に感謝申し上げます。

29班 河田廣子

◆◆◆◆◆ 11月の学園日誌 ◆◆◆◆◆

4日 常任理事会・役員会

19日 27年度年間日程申請(センターへ)

7日 区功労賞表彰式

26日 シルバーだより294号作成

※ 事務局だより ※

1. 荒川区功労者表彰について：推薦団体として本年度ご推薦致しました小磯教子さん・木村幸子さんが「荒川区功労者」として11月7日に表彰式が行われました。活動賞として華道教室元講師 栗田貞子先生が活動賞を受賞なさいました。おめでとうございます。
2. 12月の教室練習日変更のお知らせ
フラ・ダンス教室：8日と22日です。
音楽教室：6日土（午前）と12日金（午後Ⅰ）です。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

ホームページ：<http://www.arakawa-silver.com>



室長・田原



シルバーだより

No. 295

平成27年1月1日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

高齢化社会の中でも 役に立つ人に！

相談役 自然と小さな旅教室講師 稲川君江

明けましておめでとうございます。シルバー大学の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事と、お慶びを申し上げます。今や日本も世界の長寿国となりました。2013年の日本人の平均寿命の調査では、男女共に80才を超えて世界一となりました。そして100才以上の人が5万人といわれていましたが、間もなく6万人になる事もそう遠い事ではないように思います。長寿の大きな理由の一つは医学の進歩があげられます。がんや心疾患・脳血管疾患等で亡くなる割合が減っています。私達はこの医療を上手に利用しながら自分の健康をどのように守る事が出来るかが大切です。努力した結果は必ず出ます。



シルバー大学は、一年契約で学ぶ教室です。今までの教室を更新したり、新たに選び直したりしています。いつもの事ながら、ひとりひとりの学ぶ意欲が高まり、生き生きとした姿に心打たれます。

現在、シルバー大学の最高齢の学生は94歳で、4名いらっしゃいます。90才代の方は合計14名です。授業には元気に参加し、帰りには仲間とお茶をして楽しまれているそうです。

学園祭には立派な作品が発表されておりました。私達の仲間に、こんな素晴らしい先輩がおります。元気に後に続いていこうではありませんか。シルバー大学の皆様にはすでに実行している方がおいででしょう。自分の元気を分け合って人の役に立ってみるのも嬉しい事です。それはほんの小さな思いやりがあればできる事です。私達の身近な仲間の話です。その方も80才になっている方で、近所に90才代のひとり暮らしの方がいらっしゃるのので「今夜は十五夜で月がきれいね」「風邪ひいていない？」等と声をかけてあげるそうです。そんな時、お互いに笑顔になり元気になるそうです。年を重ねて自分の事で精一杯の時代に入っていく中で、小さな小さなひとかけらの思いやりのことばが相手に大きな喜びや希望が生まれたとしたらとても素敵な事ではありませんか。どうぞ、今年も健康で心豊かな年を送る事が出来ます様ご祈念申し上げます。

◎今年も良い年になりますよう、役員一同頑張りますのでよろしくお願いします。

平成26年度 役 員 一 覧								
						荒川シルバー大学		
常任理事	①	理事長	岡田 芳子	名誉学長	原田 治子			
		学 長	望月 公子	副 学 長	木村 國子	事務局室長 田原 弘子		
		副理事長	後藤八重子 (厚)	宮澤 健一 (企)	石崎 恵子 (課企)	書 記 立川 禮子 (課総)		
		事務局長	瀧澤百合子 (総)	東日暮里地区長	山岸 知子	企 画 部 高橋 建司 (課企)		
		副事務局長	山口 俊章 (総)	西日暮里地区長	畠山 英子 (厚)	企 画 部 嶋戸由美子		
		会計部長	江川 芳江	南千住 地区長	伊東千代子 ③	厚 生 部 兼杉つぎ子		
		会 計	岩崎 芳民 (施)	荒 川 地区長	藤原 晃 ③ (施)	広報部長 佐藤 恒子		
		会 計	雨宮マサ子	町 屋 地区長	滝口 和彦 ②	広 報 部 井口 和子		
				東尾久 地区長	山本 菊枝	広 報 部 高山 順子		
				西尾久 地区長	石塚美江子 ②			
相 談 役 (課) 稲川 君江								
会計監査 新井 義三 ② 中田 恭子								
理 事	②	地区・班長	1. 山口 俊章 (総) 2. 小林由美子 3. 石川 波江 東日暮里 1～7 西日暮里 8～13 南千住 14～21 荒 川 22～29 町 屋 30～35 東尾久 36～41 西尾久 42～47	11. 西澤 節子 12. 鶴岡 恵子 13. 中島 英子 14. 石井みよ子 15. 高木 信子 16. 庭野 美枝 17. 大工原仁子 18. 鳥海 幸枝 19. 小磯 教子 ③ 20. 土肥 絹江	21. 武田 咲 22. 酒井 倫夫 ③ 23. 入山 勝子 ③ 24. 竹内 陽子 25. 吉田百合子 26. 佐藤 康子 27. 佐藤 ひで ③ 28. 藤原 公子 29. 西野喜美代 30. 松本 光章	31. 小田 吉邦 32. 滝口 和彦 ① 33. 足立 房子 34. 山泉 昭子 ③ 35. 布川 春江 36. 橋 ハツミ 37. 石井 久子 38. 今井智枝子 39. 後藤 王子 ③ 40. 中村美妙子	41. 小北 好子 ③ 42. 小島富美子 43. 新井 義三 44. 高田 敏江 45. 石塚美江子 ① 46. 石山つめよ 47. 岡野 光子	
		地区・副班長	27. 佐藤エツ子 34. 徳岡喜代子	28. 山田 紀子	29. 清水 仁美	32. 森 秀太郎		
		教室代表 (月)	硬 筆 水彩画・午前 水彩画・午後 水 墨 画 パソコン・初級 フラ・ダンス	27. 佐藤 ひで ② 29. 西野喜美代 ② 28. 藤原 晃 ① 23. 矢ヶ部昭彦 15. 小川 圭子 19. 小磯 教子 ②	教室代表 (木)	絵手紙 A 絵手紙 B おしゃれニット・木曜 華 道 健康体操 俳 句 朗 読・午前 朗 読・午後 輪踊り民舞	29. 宮向井芳江 2. 丸山 文子 4. 柳原 雅子 13. 中根 光子 9. 増山美代子 (事) 29. 白井 佳子 17. 辻原 貞子 20. 榎本 節子 (事) 20. 丸田 陽子	
		教室代表 (火)	歌声クラブ 自 分 史 書道・火曜 陶 芸 日本の話芸 パソコン・中級 パソコン・上級	27. 小林 潤也 23. 入山 勝子 ② 1. 山口 俊章① (総) 17. 佐久間功子 47. 鷺坂 善孝 38. 入江 庸行 34. 山泉 昭子 ②	教室代表 (金)	今と昔の町歩き 英 語 おしゃれニット・金曜 気 功・午前 気 功・午後 茶 道 書 道・金曜 パステル・絵の具画	22. 酒井 倫夫 33. 濱 妙子 13. 五十嵐睦子 26. 大久保淑江 46. 中沢 玉枝 20. 千葉まち子 8. 松ヶ迫秀行 5. 太田諏訪子 ②	
		教室代表 (水)	頭の体操 絵本と伝承遊び 自然と小さな旅 社会科見学 写 真 料 理	34. 関 夏子 41. 小北 好子 ② 17. 伊東千代子 ① 29. 高橋 武三 (施) 23. 細田 金義 39. 後藤 王子 ②	教室代表 (土)	音 楽	26. 井上 房子	
		④ 事 務 局	管 理	28. 金久保芳夫				
		役 員 職 務 分 担						
		事 務 局	室 長	田原 弘子	局 長	瀧澤百合子	副局長	山口 俊章
			事務局員	(管 理) (接 待)	金久保芳夫 阿部 成子	岩崎 芳民 榎本 節子	増山美代子	
			部 長		副 部 長			
総 務 部	瀧澤 百合子		山口 俊章	立川 禮子	東日暮里	山岸 知子		
企 画 部	宮澤 健一	石崎 恵子	高橋 建司	嶋戸由美子	西日暮里	畠山 英子		
厚 生 部	後藤 八重子	兼杉つぎ子	畠山 英子	高橋 武三	南 千 住	伊東千代子		
施 設 部	藤原 晃	金久保芳夫	岩崎 芳民		荒 川	藤原 晃		
広 報 部	佐藤 恒子	井口 和子	高山 順子		町 屋	滝口 和彦		
					東 尾 久	山本 菊枝		
					西 尾 久	石塚美江子		

◆ 学園祭が終わって…投稿順 ◆

写真教室

講師 戸叶恒夫

「生徒さんの作品が良くなりましたね。」会場で何度か声をかけられました。うれしく思うと同時に、学生たちが熱心にごんばったのだから当然との思いもありました。学園祭への取り組みも学級代表や各班長さんが中心となりしっかりまとめていました。作品としては①画面のブレが少なくなった。②何を撮ったかがより鮮明になった。③同じものを撮ってもそれぞれ自分の写真をねらっている。などが良くなった原因だと思います。今後はますます楽しみです。

書道火曜教室

講師 大友悦子

今年で二回目を迎えました。お天気に恵まれ一人一人の笑顔が印象的でした。酷暑の八月には、ひろば館にて更に良い作品作りの為、33名が参加しました。

その甲斐あって全員の個性豊かな完成度の高い作品に仕上がった事は、大変嬉しく思います。又、代表の山口さん、係りの皆様、搬入・展示・搬出とご苦労様でした。今年度は、火曜書道教室の輪が一つになって素晴らしい学園祭でした。来年は更に飛躍したいと願っています。

水彩画教室

講師 遠藤光胡

学園祭は、水彩画教室にとって前期を飾る習作展であり、3月には後期を飾る発表会もひかえています。作品は、五十音順で展示しているので、入学年次の長短は分かりませんが、出展者は近接の作品と比較することで、さらなる前進に続けていくことと思っています。学園祭を振り返って、狭い会場が悲鳴を上げる程、盛大な祭典になった事を思うと、各教室での取り組みに敬意を表します。

.....

投稿欄

ひさしぶりに帰省して

原発事故から3年8か月が過ぎた11月9日、息子に運転を頼みました。浪江へ帰省するには、役場へ前もって申請をしなくてはなりません。車体番号、行く人全員の免許証を提示し家に行くまでは、4回も調べられます。しかも滞在時間は4時間と決められています。何の見通しも立ちませんが、前向きに老体にむち打って頑張っていかななくてはなりません。私はシルバー大学にお世話になっておりますが、それが何よりの楽しみです。友達も増えて、この間、都電の中で「あんべさん」って声を掛けられて本当に嬉しかったです。愚痴のようになってしまいましたが、お許してください。 34班 安部世利子

毎年恒例の学園祭が大好評、そして盛大のうちに開催されましたね。出展した私の感想とお礼を申し上げたく思い、ペンを持ちました。友人も見に来てくれて、「よく書けてるね」と私の作品を見て言ってくれました。

好天气に恵まれての3日間・・・そして多数のご来場者だった事を役員さんよりお聞きし素晴らしい事だと思うのと同時に、大勢の方々のご苦勞を心より感謝しお礼申し上げます。

どの作品も活き活きと輝き、毎年毎年力作がずらりと並び只々感心して時間の過ぎるのも分らず見て回りました。作品一つ一つにその作った方の心がこもっていて優しい気持ちで幸せな気分でした。

毎年沢山の作品を見てみると、あれも・・・これも・・・やってみたいと思ひながらも結局は今迄の教科だけ・・・ですが、続けてやって行く事に意味があるのかもと思ひつつ一年が過ぎてしまいます。とにかくそれには元気でいられることが第一条件かなとも。

次に兼杉先生のコンサートの事です、何度か参加し素晴らしいソプラノ独唱とピアノ演奏をお聞きし、幸せなひとときを過ごしてまいりました。そして、アンコール曲として唄って下さった詩(言葉)が忘れられない言葉ばかりでした。皆様もそう思ったと思われます。

♪『よかった』 河野進作詞 川口耕平作曲

微笑んでよかった 黙っていてよかった 悪口を言わないでよかった
我慢してよかった おこらないでよかった やさしく言ってよかった
お祈りしてよかった よかった よかっただけを

どの言葉も当たり前の言葉ですよ。果たして私はどうだったろうか？と思ひ、とっても深い意味のある言葉だと思ひながら家路につきました。また来年を楽しみにしております。役員の方をはじめ、そして大勢の方々のご苦勞に心よりお礼申し上げます。

35 班 伊藤静子



1月の行事

平成 26 年度 学芸会プログラム

1 月 30 日（金） 午前 9：20～午後 4：35 於サンパール荒川 3 階（小ホール）

NO	発表時間	出演教室名	内 容
	9：20～9：50		ビデオ上映（26 年度学園祭）
1	9：50～9：55	開 会 式	挨拶：理事長 岡田芳子
2	10：00～10：30	気 功	① 香功 ②冬の気功 ③医療気功「内養功」他
3	10：35～11：05	日本の話芸	① 寿限無 ②声色「歌笑純情詩集」「恋の山手線」他
4	11：10～11：50	朗 読	① 詩「最初の質問」②空色のゆりいす③詩「雪」
5	11：55～12：25	輪踊り民舞	① ノーエ節 ②鶴亀おどり ③ 八戸小唄 他
	12：25～1：15	（昼 休 み）	ビデオ上映
6	1：15～1：45	フラ・ダンス	
7	1：50～2：30	英 語	
8	2：35～3：05	歌声 クラブ	1 部：「東京物語」8 曲 2 部：「牧場の朝」他
9	3：10～3：40	健 康 体 操	ラジオ体操（第一体操・創作体操） 見上げてごらん他
10	3：45～4：15	音 楽	
11	4：20～4：35	閉 会 式	挨拶：学長 望月公子

- ・ 演技中の私語は慎みましょう。 ・ 座席はつめてお座り下さい。
- ・ 二つ前の演技が終わりましたら、席を立てて舞台裏の準備室で待機してください。
それまでは落ち着いて座席で鑑賞してください。
- ・ 自分の演技が終わっても、他教室の発表に敬意を払い声援を送りましょう。

教室紹介・・・絵本と伝承遊び教室

友人よりシルバー大学のお誘いを頂き、「今と昔の町歩き教室」に入学参加させて頂きました。望月講師・目黒先生・斉藤先生・役員の皆様のお手伝い・準備・下見などの計画に、今日まで仕事一辺倒の私には新鮮で感激、感激の一言でした。透析の身ですので、なかなか時間がとれず、一教科でしたが、何かもう一教科を受けたいとの思いを友人に相談しましたところ、「絵本と伝承遊び」の教科を紹介され、早速教室見学に参りました。

その教室での授業の石崎講師のやさしい包容力のある姿に、昔の学生時代を思い出され心が熱くなるものを感じまして、事務所にさっそく入学の手続きをして来ました。入学して半年で学園祭に参加。折り紙作品を出品させて頂き、私にぴったりの家族愛の「フクロー親子」の作品が出来上がりました。

石崎講師の手ほどきで完成した喜びに感謝しています。当日作品、絵本飾り付

けの部品など多くの荷物の持込みを全部自家用車で運んで下さったことに重ねて感謝感激です。石崎講師本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。クラスの学生仲間もとても素晴らしい方ばかりで感謝しながら通っています。

25 班 濱野喜代子

◆◆◆◆◆ 12 月 の 学 園 日 誌 ◆◆◆◆◆

2 日 常任理事会・役員会

24 日 シルバーだより 295 号作成

※ 事務局だより ※

1. 平成 27 年度受講生募集について

今と昔の町歩き・自然と小さな旅・社会科見学（3 科目・新規の方のみ）

期日：2 月 6 日（金）：時間 午前 10：00～抽選、11：00～12：00 受付

上記 3 科目以外すべて

期日：2 月 9 日（月）～ 24 日（火）：時間 午後 1：00～3：00

（土・日・祝日＝休み）

※6 日に申込みした方の中で、他に希望する科目がある方は 9 日以降【再度】手続きお願いします。その際初回（運営費）の領収書を添付してください。

（運営費 ¥7,000 は 1 回のみ、重複払いをしないよう確認の意味で領収書を拝見します。）

・「新入学申込書」・「募集要項」の配付 ＝1 月より 玄関ポスト前に設置

・「継続 申込書」・「募集要項」の配付 ＝1 月 13 日より地区班長が配付

2. 平成 27 年度の開講教室は下記のように なっております。

（月）◎水彩画・水墨画・パソコン基礎 / 気功・硬筆・フラダンス

（火）歌声クラブ・◎書道火曜・◎陶芸・パソコン応用Ⅰ・応用Ⅱ/ 自分史・日本の話芸

（水）社会科見学・料理 / 頭の体操・絵本と伝承遊び・自然と小さな旅・写真

（木）絵手紙 A・華道・◎朗読・輪踊り民舞 / 絵手紙 B・おしゃれニット木曜・健康体操・俳句・楽しい源氏物語

（金）英語・書道（金曜）・おしゃれニット金曜 / 今と昔の町歩き・茶道・

パステル絵の具画 （土）音楽 /

（ / ＝午前・午後の時間帯区分： ◎ ＝午前と午後の授業あり ）

3. 写真教室 第三回作品展のお知らせ

日時：平成 27 年 1 月 27 日（火）～2 月 2 日（月）9：00～20：00

（初日は 12：00 より 最終日は 15：00 まで）

場所：サンパール荒川 2F ギャラリー 荒川 1-1-1

（事務所）TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

ホームページ：<http://www.arakawa-silve.com>

室長・田原



シルバーだより

No. 296

平成 27 年 2 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

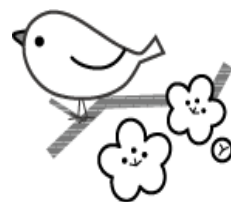
—いつまでも続けましょう—

頭の体操教室講師 水越絹代

シルバー大学の業務に携わって 24 年になろうとしています。私が事務局の仕事をはじめた頃、当時は学長でいらした故秋山前理事長と、必死に「シルバーだより」を作成していたことが思い出されます。それまで隔月発行だった「シルバーだより」を何とか毎月発行にまでこぎつけることができました。

念願だった「シルバーだより」の毎月発行が実現して、故水越初代理事長は大変喜び、毎月せっせと原稿を書いていたものです。

そして現在、平成 27 年 2 月で 296 号になっています。ここまで継続できているのはすごいことであり、毎月発行し続けるのは、とても大変なことです。現在発行を担当して下さっている方々のご苦勞がうかがえます。「シルバーだより」の 1 号 1 号が、大学の歴史となり素晴らしい財産となっていくます。



さて、今はあまり聞かれなくなった「脳トレ」という言葉が流行ったのは、今から 10 年ほど前でしょうか。私が、東北大学の川島隆太教授が提唱した『簡単な読み・書き・計算で脳が活性化する』という言葉に感銘を受け、頭の体操教室を始めさせて頂き 8 年が経ちました。目に見えてとはいかなくても、学習を長く続けていくことにより、きっと効果があらわれるはずだと私は信じています。お教室でも、それまで出来なかった計算問題が、ある時突然できるようになったり、少し長い文章も暗記する人がどんどん増えていって、びっくりする事がよくあります。根気よく、あきらめないで学習し続けていくということが、どんなに力を与えてくれるものかが良く分かります。

長く続けていくと共に、次の 6 つの事も気にかけて頂くと脳細胞が若々しく保てるそうです。

1. 体を動かす
2. 刺激ある環境に身を置く
3. 楽しく脳を使う
4. 悩みを持ち続けない
5. 脳の栄養に注意する
6. 「いいこと」を考える

若々しくなった脳細胞で、「きのうは出来なかったことが今日は出来た！」と言える毎日を、これからも過ごして頂きたいと思います。それが、自分にとっての素晴らしい財産になっていくことでしょう。

今と昔の町歩き 10 周年記念行事に参加して

教室が出来て今年で、10 年目を迎えました。10 年という月日は長いようで短く「歩く・のぼる・見る・学ぶ」を取り上げてきたと思います。そして 10 年目の記念行事として 11 月 13、14 日の「あきのふくしま路と復興応援ツアー」の旅が実現しました。この旅は、国や福島市、荒川区の皆様のお蔭で行くことが出来ました。

7 時 30 分荒川区役所を出発、一路福島へ、安達太良、吾妻の山々が何も無かったように私達を迎えてくれました。

1 日目は、りんご収穫体験。安斉果樹園のご夫妻の案内でりんご畑へ。「ワー！たくさん」、「真っ赤に、おいしそう」皆さんの声。りんごの木を指示して頂き、採る人、むく人、食べる人、皆さん楽しく過ごしました。福島の食の安全・安心のために「米の全量全袋の検査」の様子も見学。ご苦勞と大変さが分かり、改めて福島市の農産物の安全性を確認しました。この旅は、自分史教室やその他の教室の方々にも参加して頂き、ありがとうございました。

16 時頃、飯坂温泉「ホテル聚楽」に到着、各部屋に分かれゆっくり団欒のひと時。宴会は沢山のお料理が並び、乾杯はシルバー大学の副理事長宮澤氏に。歌や踊り、芸達者揃いで楽しい一夜でした。

2 日目は①旧堀切邸。江戸時代から続いた豪農・豪商で、関東大震災の都市計画局長や東京市長等日本の近代国家に尽力した人々を輩出した旧家。②「JA 新ふくしま」では新鮮な果物、野菜が。皆さん沢山買い求めました。③市民会館でりんごジャム作りを体験。りんごの皮をむく、刻んで煮詰める人等。30～40 分の工程で作り味見。そしてビン詰めにしてお土産に頂きました。④二本松の菊人形展。私は初めて見ました。今年で 60 回目を迎える祭典で、それは見事でした。

この旅も終わりに近く楽しかった 2 日間、私はバスの中で「福島頑張って」と心の中で叫びました。何も出来ない自分に涙ぐみました。

学び続ける仲間と過ごす時間は楽しいです。この先も健康と楽しみを作って行きたいと思っています。

今と昔の町歩き教室 高松 幸子

正月散歩（音無川の今昔）

正月、飲んで喰っての生活では身体によくないと思い散歩に出てみる。1 月 9 日北風が強く寒い、途中町歩きの一行を見かけたが、下谷七福神めぐりの御一行様だろうか、二組に会った。多少お歳を召していらっしゃる方々のようだが皆さん元気そうだ。

暫く行くと街角で、正岡子規「春の水音無川と申しけり」の句碑に出会う。

俳句を嗜む知り合いの先生の説によると「冬の間川底に凍り着いていた氷が、春の訪れと共に溶けて流れ出すさまを見ての句で、春のぬくもりを水の流れて知らされる」と詠んだものだ、と聞かされた。そう云えばこの辺りは、「御隠殿坂下」で近くに音無川が流れていたそうだ。この近くには正岡子規が終焉を迎えたと云う子規庵もある。

（御隠殿とは、上野寛永寺門主輪王寺宮法親王の別邸・隠居所で上野の山から隠居所迄下って来る道が作られた。これが御隠殿坂で、この別邸の前を流れる川が音無川、それに架かる橋を御隠殿橋と云い、石作りで昭和8年にこの川が暗渠になる際壊されたという。荒川教育委員会）

音無川は、石神井川の支流で、本流は王子の飛鳥山にぶつかってその墜道（トンネル）を抜けて堀船・豊島の町を通過して隅田川に注いでいる。飛鳥山の東側に分かれて支流となった川は、今のJ Rに沿って田端・日暮里・鶯谷・金杉と流れて来たのが音無川で、今は暗渠になっていて、明治の末頃までは灌漑用水として使われていたとの事だ。

此の川が、根岸と日暮里の境を決めていることは前から知っていたが、これは荒川区と台東区の当然区界でもあるわけだ。散歩しつつもう少し調べてみよう。



御隠殿坂

6 班 宮澤健一

「手をつなぐ」

怪我をしない様に、迷子にならない様にと子供や孫と手をつないで歩いたのは随分昔の事。私の生活から「手をつなぐ」行為は無くなりました。然し最近復活したのです。後期高齢者になった姉たちと歩くとき、少し年上の方と出かける時、腕を組んだり手を繋いだりが普通になりました。足取りがおぼつかなくて心配なのです。

手を繋ぐことで忘れられない光景があります。母の手を引いて歩く父の姿です。両親が今の私の年齢の頃、母は白内障になりました。父は母に付き添い手を繋いで病院へ通いました。明治生まれの父が、母に優しい言葉を掛けるのは余り記憶にありませんでしたが、食卓の大皿に盛られたおかずを取り分け、食べやすい様に切ってあげる父がいました。父は87歳で亡くなり、1年後同じ10月、母も87歳で亡くなりました。

9 班 井口和子

・・・・・・簡単！ 美味しい！・・・・・・

「シルバーだより」10月号で立川先生に教えていただいた“もやしの甘酢煮”を作りました。手早く出来、材料は手に入り易く安価、ヘルシーで見た目もきれい。私は“ごま”をかけてみました。少し時間を置いた方が味がなじんで美味しく感じました。皆さんもおためし下さい。



材料：もやし・人参・油揚げ（だしと醤油と砂糖と酢で味付け） 広報部

◆◆◆ 1月の学園日誌 ◆◆◆

- | | |
|--|--|
| 6日 税務署へ支払調書提出（会計） | 14・16日 3教室継続申込終了 |
| 13日 常任理事会・役員会 | 19日 学芸会打ち合わせ |
| 27年度募集要項・継続申込書新
入学申込書・当番表配付 | 26日 シルバーだより296号作成 |
| 13日 27年度募集ポスター区掲示板へ
掲示依頼（1/15日-24日） | 30日 26年度学芸会〔サンパール〕
来賓 北京師範大学教授等8名
来賓 福島市市民活動支援課2名
福島市からの訪問者4名 |

※ 事務局だより ※

1. 平成27年度募集受付期日時間について

6日（金）＝午前10：00～申込抽選・11：00 申込受付（新規の方のみ）

自然と小さな旅、今と昔の町歩き、社会科見学

9日（月）＝午前10：00～12：00、午後1：00～3：00 受付

6日受付の三科目以外すべての教科

10日～24日（水～火）＝午後1：00～3：00 受付

6日受付の三科目以外のすべての教科 土日祝日 休

◆追加申込について：初回の領収書を持参すること。（運営費の重複支払を防ぐ為）

※募集要項をよくお読みになり、申込書にご自分で必要事項をご記入の上、
受講料を添えてお申し込みください。

※受付当番の方へ：当日は印鑑《領収書に押印》をご持参ください。

2. 2月の講義変更教室について

音楽教室：21日（土）のみです。

3. 水彩画教室 第21回発表会のお知らせ：会期/3月3日（火）～9日（月）

時間/ 午前10時～午後6時（初日は午後1時より、最終日は午後3時まで）

会場/ 町屋文化センター ふれあい広場

（事務所）TEL3801-5740 FAX3801-5691

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原



シルバーだより

No. 297

平成 27 年 3 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

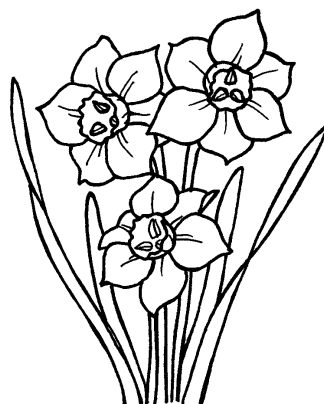
・・・春を待つ・・・

副学長・英語教室講師 木村 國子

三月を迎えました。水仙の花があちらこちらに群れて咲いています。とても良い香りです。一本一本が凛として美しく、まるでシルバー大学の学生のようにです。私は、早春に咲くこの花が大好き。春がもう そこまで来ています。

入学式でスタートを切った各クラスの授業も終盤を迎えています。学校の諸行事もほぼ終え、三月の卒業式を待つばかり。桜が咲くのも、間もないことでしょう。

先日、クラスの生徒が書いた一年間の感想に目を通しながら、今年を振り返ってみました。「色々あったけれど、充実した良い年だった。良き生徒に囲まれ、励まされ、励ましあいながら、一年のゴールを迎えられそう。シルバー大学に所属してこそ味わえる幸せ」とつくづく思いました。



新たなスタートとなる入学、各クラスの受付が、二月六日から始まりました。今年も沢山の人が、シルバー大学で学ぶことを楽しみに待っていることでしょう。年を取っても、学べる場があり、共に切磋琢磨出来る仲間がいると言うことは、なんと幸せなことでしょう。好きなクラスが選べ、基礎から学べる学校が身近にあるという意味を皆でもう一度考え、大切にしていきましょう。

知識、技術の習得だけではなく、人と関わり、良い関係を結びましょう。社会生活を円滑に送れるよう、心を磨き、一層心豊かに生きましょう。

人間、必ずしも良い時ばかりではありません。人生の途上でどんな不幸が待ち受けているかわかりません。そのような時も声をかけ、心を配り、分かち合える人がいるクラス、学校でありたいものです。

人生経験をたくさん積んでいる人たちがいる学校。それが、荒川シルバー大学の自慢です。誰もが、この学校で、少なくとも一年間学んで来て、三月に修了の時を迎えます。春の暖かい陽射しが全ての人に降り注ぎ、新たな年へと希望を持って進むよう心より願っています。

◆ 26 年度学芸会が開催されました ◆

平成 27 年 1 月 30 日、(例年より一ヶ月程早く) 春を呼ぶ行事として、恒例のシルバー大学・学芸会(平成 26 年度)が、多くの生徒さんや、一般のお友達にもお集まり戴き、滞ることなく無事に催すことが出来た事、心より感謝申し上げます。



司会:後藤八重子さんと瀧澤百合子さん

ただ驚かされたのはお天気でした。朝からの氷雨が開演の頃には本降りの雪になり、足元が悪くなる中どうなるのか、発表を控えて出演される生徒さんが無事に来られるだろうか?すべて怪我される事はないだろうか?など心配しましたが、それも無用でした。

学んだことを舞台の上で一生懸命発表された生徒さん、それを熱心に指導された教科の先生方のたまものでしょう、例年になく多くの観覧者の参加を見ました。

教科を発表された参加者並びに観覧者の在校生が 330 余名、そして一般のお客様が 40 名程、それに講師 24 名、終了間際に駆け込みで来られた人が何名か? 推定入場者 400 名程の多くの方に来場いただきました。それに今年は特別な二つの団体に参観いただきました。



福島市と観光農園の方

一つは「今と昔の町歩き」教室 10 周年の記念行事として、荒川区と友好都市である福島市を、復興支援事業の一環で 60 余名の生徒が観光旅行で訪問しました。そしてこの日、荒川区の交流行事で、私達が伺った先の福島市担当役員の方及び観光農園の方々が区を訪問されていたので、我々の学芸会を午前中(午後も一部)観て頂くことになり、「大変立派で感激した」とのお声を頂きました。

もう一つは、荒川区教育委員会催行の「中国北京師範大学教授等視察実施予定」の中にこの我々の学芸会が含まれており、終演近くでしたが観て貰い、これも視察の各先生方から「感激した」とのお言葉を頂きました。多くの方々に「立派な発表会だったね!」と云われました。それも、この学芸会に向けてご指導頂いた各教科の先生、



及各場所でそれぞれの役目を果たされた役員の皆様のお蔭です。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

実行委員長 宮澤健一

小林教育委員長と北京師範大学教授等の皆さん



学芸会出演の教室の講師の先生及び生徒さんから学芸会の感想を頂きました。有難うございました。(広報部)

～投稿順の掲載とさせていただきます～

.....

日本の話芸教室

講師 塚田義介

来年は、教室開始10周年を迎えます。心癒される楽しい教室です。鑑賞するのが好きな人、話すのが好きな人、みんな大歓迎です。

さて、今年の学芸会は楽しんでいただけましたでしょうか。落語と講談はすでに何度も発表していますが、浪花節（浪曲）は初めてです。浪曲はセリフの他に、三味線と節があるので難しいのです。しかし、私たちは今年の10月、『課外授業・浪曲研究会』を開催して研修を積み、今回、発表に踏み切りました。

演題は、戦前一世を風靡した「壺坂霊験記」です。節もセリフも大変よく出来たと、自画自賛している次第です。次にテーマ曲「寿限無」ですが、今回はラップ調にして、ラインダンスも加えて楽しくやってみました。ジュゲム爺さんもカワイかったでしょう？

また、声色は「歌笑・純情詩集」と「痴楽・恋の山手線」の2本立てでした。2人の個性的な声質と緩急の対比が、何ともいい雰囲気でした。楽しかったですね。

最後の落語は、「粗忽長屋」と「居酒屋」の2つを聴いてもらいました。いつもの役者が揃い、個性豊かな声とセリフ回しは健在で、客席の皆様には満足していただけたことと思っています。

歌声クラブ教室

講師 本田晴子

雪が舞っている生憎の天気の中、会場は熱気で溢れていた。3回目となるクラブの出し物は「戦後70年を振り返る」の内容で、ナレーションを入れて心をこめて歌いあげた。リズムが合わず苦労した曲も何とかできた。

第2部の会場が一体となつての曲は、声の音量がいや増して、伴奏を消す勢いで圧倒された。やはり、歌の力は偉大である。特に懐かしい歌は、元気になれる。励まされる。さて、来年はどんなことをしょうか。考えをめぐらしている。

音楽教室

講師 飯島純子

今年は海をテーマとした4曲に「美女と野獣」「今が幸せ」を加えて発表しました。

曲によっては音程をとるのが難しかったり、高音域が出し辛かったりしましたが、皆さん頑張って練習し、どの曲もよく歌えたと思います。中国のお客様のため、もう1度2曲歌えて、アンコールの様で嬉しかったです。

練習の時にはICレコーダーなどで録音する方も増え、お家で練習なさるのだなと感心しています。この1



0 数年間で何回も歌いついだ歌が増えて、レパートリーも広がりました。今に音楽教室だけで発表会が出来るかしら、等と夢をふくらませています。

私達は、これからも高低お互いのパートを聴き合って、ハーモニーを創る楽しさを追求していきたいと思っています。古くから歌い継がれてきた歌、また新しい感覚の歌をどのように組み合わせるか選曲は悩む所ですが、私にとって楽しい作業でもあります。今、来期の曲は何にしようかと、あれこれ考えている最中です。

健康体操教室

今年の学芸会は、白い花びらの様に雪が舞う足元の悪い中、シルバー大学の生徒さん達が朝早くから沢山来ていました。元気でバイタリティーが有り、思いやりのある方達だと心から思いました。さすが31年の歴史のある学芸会だと感動致しました。私も1生徒で改めて良かったと思いました。

皆さんそれぞれ沢山練習して、1つの事に向かって頑張ってきたので、自信を持って演技をしていました事が、すごく伝わって来ました。

私は健康体操に参加しました。曲に合わせてボールやシュシュ、手袋、鳴子を使って創作体操をしました。みんなで考え何度も何度も練習して、とても楽しい体操が出来上がりました。本番は明るく楽しく、笑顔で元気に和気あいあいと一致団結出来ました。“満足です”

教室代表 9班 増山美代子

輪踊り民舞教室

講師 新英美紗信

学芸会で毎年心配になっていたのが着がえる時間と場所の広さでした。今までは2つのグループに別れ、着がえをして、それでもあわただしく本番を迎える状態でした。今回は先生方の配慮で全員での着つけができ、お互いの帯を結び合い見ていて嬉しく思いました。

たんすの中に眠っているだけの着物ではもったいないと思います。この機会に着るチャンスをみつけ、皆さんには着て頂いております。約1年間の成果発表が無事終わりました。舞台を終えた皆様の笑顔がステキでした。



朗読教室

講師 池田洋子

・・・「外は雪でも内は春以上の暖かさ。本当は上手に間違えてしまったけれど結果良ければ全て良しの思い。1番後ろに着していた夫の顔も見えた程の度胸も。楽しく明るくお世話様になりました」・・・学芸会終了後に朗読教室の学生から届いた葉書の1部です。最後に「朗読は奥が深いです」と結んでありました。

今年も学芸会初参加の学生達がいいます。音合わせも立稽古も初めてのこと。会場に目がいく程の余裕もなかったことでしょう。私は何より嬉しく思うことは、学生同士

が仲間を思いやる温かい眼差しや支え合う姿があることです。

これからも朗読の力量を高めていくことは勿論のこと、それ以前に人として、またシルバー大学の学生として仲間へのおもいやりや労りの気持ちをもって接して欲しい。そして、皆でひとつの舞台を創り上げる喜びや達成感を精一杯味わって欲しいことです。

フラダンス教室

初めて学芸会にフラダンスで参加、午後の部の1番目トップバッター(7人のグループ)で、出番直前は少し緊張しましたが、何とかつつがなく踊れとても嬉しく思いました。思えば去年の4月入学、日頃のレッスンも最初は運動不足解消と美容体操のつもりで気楽に思ってましたが、本格的なストレッチ体操もあり、同年輩や先輩達の軽やかな動きに愕然としました。まして、舞台上で演技するという事は、やはり日頃のレッスンの積み重ねを真剣に取りくんでいかなければならないという事を改めて痛感させられた瞬間でした。



会を重ねる度交友も深まり、有意義な空間も生まれるようになり、レッスンが益々楽しくなりました。それは何といても本場仕込みの佐々木時子講師、ある時は厳しく、ある時は優しく懇切丁寧、かつ明るく朗らかにユーモアを交えたご指導のお蔭と心より感謝しております。最後に会友の方々にいろいろ助けて頂きまして、誠にありがとうございました。

5班 丸橋浩子

英語教室

講師 木村 國子

学芸会は、一年間の学びを確かめる場であり、普段の授業の成果を見てもらい、クラスで何をしてきたのかを紹介する機会でもあります。クラスの皆さんが、舞台上上がった時の真剣な顔! 顔! 何度練習しても緊張するようです。

今年は、歌二曲、「ラブ ミー テンダー」と「花はどこへ行った」を歌いました。クラスの丸橋さんのピアノと、外からの応援で、強力な助っ人の大藤さんのギター伴奏で皆気持ち良く歌いました。本読みは、日本昔話「ねずみの相撲」の英語バージョン。交代で、一ページずつ、頑張って読みました。



最後は、六グループに分かれての、英会話。それぞれテーマを決めて、ストーリー作りから自分たちで話し合っ作った自慢の会話です。皆のパワーに私はただただ感心し、感動し、幸せなひと時を楽しませてもらいました。

3月の行事

平成26年度 閉講・卒業式

日時：平成27年3月18日（水） 午後2時00分

会場：サンパール荒川 小ホール

一部

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 開式のことば | 7. 奨励賞授与 |
| 2. 敬 礼 | 8. 奨励賞受賞者謝辞 |
| 3. 理事長挨拶 | 9. 感謝状授与 |
| 4. 卒業証書授与 | 10. 校歌斉唱 |
| 5. 学長式辞 | 11. 閉会のことば |
| 6. 卒業生答辞 | 12. 敬礼 |

二部 記念撮影

奨励賞受賞者・卒業生

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 2 月 ◆◆◆◆◆

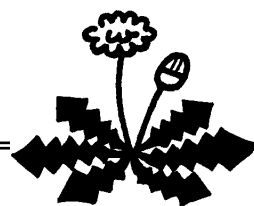
3日 常任理事会・役員会

24日 シルバーだより 297号作成

6日 27年度募集受付（24日迄）

30科目 37教室

※ 事務局だより ※



1. 平成27年度の募集申込み受付について

区の生涯学習課、福祉高齢者課および広報課、生涯学習センター他、皆さんより多大なるご協力をいただき、27年度の募集受付が無事終了致しました。心より感謝申しあげます。また役員の方々には毎日お手伝い頂きありがとうございました。

2. 受講生二次募集について 各教室若干名の追加募集を致します。

期日：3月3日（火）～5日（木）（詳細は事務所前に掲示）

時間：午後1時～3時 会場：シルバー事務所

3. 講師会について 日時：3月27日（金）午後1時より：会場：第一会議室 事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

ホームページ <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原